

# 事務事業及び予算の執行状況

## (令和5・6年度分)

静岡県立焼津水産高等学校

焼津市焼津5丁目5番2号

電話 054-628-6148

F A X 054-628-1556

# 目 次

ページ

1	事務事業の概要	1
	事務執行の根拠法令調	13
2	学校施設の概要	15
3	在籍生徒調	18
4	入学志願者及び入学者数調	20
5	卒業生の動向調	22
6	生徒の状況	24
7	授業料収納状況調	26
8	歳入予算執行状況調	28
	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	32
9	過年度分収入未済額調	32
10	現金出納調	33
	預金調	34
	郵便券等受払調	34
	材料品受払調	36
11	歳入歳出外現金調	38
12	歳出予算執行状況調	40
	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	49
13	委託料に関する調	50
14	負担金支出調	56
15	建築工事調	60
16	公有財産調	64
17	借地借家等調	65
	事務機器等の債務負担行為	68
	又は長期継続契約に係る調	68
18	行政財産貸付・使用許可調	69
19	備品・図書調	70
	主要備品調	73
20	動物管理状況調	74
21	生産物受払調	78
22	公務中の事故等に関する調	88
23	工事中の事故に関する調	89
24	前回の監査結果改善状況調	89

## 事務事業の概要

## 1 概況

## (1) 学校の沿革

大正11年3月10日	文部大臣より静岡県志太郡焼津町立焼津水産学校（乙種）設立認可。漁撈科、製造科を設置（定員300人）
大正11年4月	入学式を挙げる
大正11年11月11日	開校式を挙げる
大正14年4月1日	県立移管、甲種昇格。静岡県立焼津水産学校と改称し養殖科を増設、本科は漁撈科、製造科、養殖科となり、定員300人。専修科は漁撈科、製造科となり修業年限1年、定員30人
昭和5年3月	養魚実習池竣工
昭和7年3月	寄宿舎竣工
昭和8年2月11日	校旗制定
昭和10年10月30日	校歌制定
昭和16年3月13日	定員を500人に増
昭和22年4月1日	学制改革により併設中学校設置
昭和23年4月1日	学制改革により静岡県立焼津水産高等学校と改称
昭和23年9月1日	定時制課程の設置認可 通常課程は漁業科、水産製造科、水産増殖科となり定員450人 定時制は普通科、水産科となり修業年限4年、定員160人
昭和23年10月2日	定時制入学式を挙げる
昭和27年4月1日	漁業専攻科を設置（修業年限2年、定員50人）
昭和29年4月1日	全日制課程に機関科を新設 全日制課程は漁業科、水産製造科、水産増殖科、機関科となり定員450人
昭和31年4月1日	全日制課程の1学年定員は漁業科50人、水産製造科60人、水産増殖科35人、機関科35人、計180人となる。
昭和32年4月1日	機関専攻科を新設（修業年限2年、定員30人） 専攻科1学年定員は漁業専攻科50人、機関専攻科30人
昭和33年4月1日	電気通信科別科を新設（修業年限2年、定員60人）
昭和35年4月1日	専攻科課程の1学年定員は漁業専攻科20人、機関専攻科15人、計35人となる。
昭和36年3月31日	電気通信科別科を廃止
昭和36年4月1日	全日制課程に無線通信科を設置（定員40人） 全日制課程の1学年定員は漁業科50人、水産製造科60人、水産増殖科35人、機関科35人、無線通信科40人、計220人となる。
昭和39年3月25日	本館（東側）改築工事（4階建、一部5階建1,161㎡）竣工
昭和41年3月10日	寄宿舎（六星寮）竣工（移転新築）
昭和41年4月4日	定時制課程の募集停止 全日制課程の1学年定員は漁業科40人、水産製造科80人、水産増殖科40人、機関科40人、無線通信科40人、計240人となる。
昭和43年6月29日	実習船「やいづ」Ⅰ世竣工（248.40トン）
昭和48年3月20日	本館（西側）改築工事（鉄筋5階建3,550㎡）竣工
昭和51年3月25日	南館（鉄筋4階、一部3階建3,655㎡）及び生徒昇降口等（鉄筋2階建598㎡）竣工
昭和53年7月26日	実習船「やいづ」Ⅱ世竣工（432.65トン）
昭和62年3月31日	臨海実習場及びプール竣工
昭和62年4月1日	学科改編により海洋漁業科（海洋漁業コース・海洋機関コース・電子

	情報コース（定員120人）、栽培漁業科（定員40人）、水産製造科（定員40人）、流通経営科（定員40人）、1年定員は240人となる。
平成2年4月1日	専攻科課程の漁業科（漁業・機関）を海洋漁業科（漁業・機関）に改める。1学年定員は15人
平成3年3月14日	実習船「やいづ」Ⅲ世竣工（416トン）
平成3年3月20日	食品製造実習棟竣工
平成6年3月31日	機関・製造実習棟（海洋工学センター）竣工
平成6年4月1日	海洋漁業科（海洋漁業コース・海洋機関コース・電子情報コースを海洋漁業科（マスターコース・マリンコース・エンジニアコース）に改める。1学年定員は海洋漁業科120人、栽培漁業科40人、水産製造科40人、流通経営科40人、計240人
平成7年4月1日	学科改編により海洋科（マスターコース・電子情報コース（定員80人））、栽培漁業科（定員40人）、水産製造科（定員40人）、流通経営科（定員40人）、マリン技術科（マリンコース・エンジニアコース（定員40人））、1学年定員は240人となる。
平成8年3月25日	マリン技術実習棟竣工
平成13年4月1日	学科改編により航海工学科（航海コース・機関コース（定員40人））、栽培漁業科（定員40人）、食品科学科（定員40人）、流通情報科（定員40人）、マリン開発科（定員40人）、1学年定員は200人となる。
平成15年4月1日	文部科学省から「みんなの専門高校プロジェクト・異年齢交流による水産・海洋教育」の研究指定を受ける。（2年間）
平成16年4月1日	専攻科課程の海洋漁業科（漁業・機関）を航海工学科（航海・機関）に改める。1学年定員は15人
平成18年4月1日	学科改編により海洋科学科（航海コース・機関コース・開発コース（定員40人））、栽培漁業科（定員40人）、食品科学科（定員40人）、流通情報科（定員40人）、1学年定員は160人となる。
平成18年5月9日	文部科学省から「目指せスペシャリスト」の研究指定を受ける。（3年間）
平成21年4月1日	文部科学省、水産庁から「地域産業の担い手育成プロジェクト（水産分野）」の指定を受ける。（2年間）
平成21年6月1日	実習船「やいづ」Ⅳ世竣工（559トン）
平成24年11月10日	創立90周年記念式典挙行
平成25年4月9日	静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校（併設）開校
平成26年4月1日	海洋科学科（定員80人）になり、1学年定員は200人となる。
平成26年4月7日	文部科学省「スーパープロフェッショナルハイスクール」指定校となる。
令和4年11月12日	創立100周年記念式典挙行
令和6年1月25日	本館改築工事（鉄骨7階、一部5階建5,148㎡）竣工

(2) 組織図

校 長 ———— 学校評議員会

職員会議  
運営委員会  
経営・部長会議

副校長 教 頭

◎企画総務部  
○総務課  
○図書課 司書教諭

◎教務部  
○教務課  
○企画研修課  
○ICT活用

◎情報担当

◎実習船 実習船乗船教官

◎キャリア教育推進部  
○進路課

◎指導部  
○生徒課 ○相談室  
○保健課 ○特別支援コーディネーター

◎学年指導部 各学年主任

◎学科 水産科

◎舎務 舎監

事務長

庶務  
会計  
管財  
用務

船 長

指導部  
運航部

〈主な委員会〉  
教育課程検討委員会  
学年連絡会  
学校職員衛生委員会  
学校保健委員会  
施設等開放委員会  
行事検討委員会  
学校評価委員会  
防災管理委員会  
ICT推進委員会  
部活動検討委員会  
いじめ防止対策委員会  
実習船運営委員会  
特別支援教育推進委員会  
分校連絡会

## 2 目指す学校像

### (1) スクール・ミッション

県内唯一の水産・海洋高等学校として、企業や行政、高等教育機関等との連携による「体験的・探究的な学習」、「高度で実践的な学習」を通して、未来の地域産業を担い、地域の発展と活性化に貢献できる人材及び全国の水産産業を牽引する人材の育成を目指す。

### (2) スクール・ポリシー

#### ・グラデュエーション・ポリシー

基本的な生活習慣が確立しており、自らの意思で学びに向かい、主体的に行動できる生徒を求める。

#### ・カリキュラム・ポリシー

地域の企業、行政、教育機関との連携及び地域の環境や資源を生かした学びの充実を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

#### ・アドミッション・ポリシー

積極的に社会に参画しながら、より良く、たくましく生きるための資質・能力として、「基礎学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」を育成する。

### (3) 教育目標

『生徒一人一人の特性を最大限に伸ばす』をスローガンに、生徒が未来の創り手となり、積極的に社会に参画しながらより良く、たくましく生きるための資質・能力を身につけさせる。

### (4) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 「基礎学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」等を備えた人材の育成

イ 将来のスペシャリストとして、確かな知識と技能の定着、職業人としての「志」を育成

ウ 地域の発展を見据えて、全国・世界に羽ばたくグローバル人材の育成

エ 「自己肯定感」の向上、「多様な価値観を共有」できる豊かな人間性を育む

オ 健康な心身の育成及び「自他の安全を守る」意識の醸成

カ 学校経営基盤確立のための諸施策の推進

① 地域の環境や資源を生かした学びの充実（社会に開かれた教育課程の実現）

② 地域・保護者への積極的な情報発信、広報広聴の充実

③ コンプライアンスの徹底、働き方改革の推進（ワーク・ライフ・バランス）

④ 学校経営に基づく予算編成と執行、学校施設設備の管理と保全

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	「基礎的学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」等を備えた人材の育成	<b>【教務課】</b> ・「授業が理解できた」と答える生徒8割以上 ・1日の家庭学習時間（平日）60分以上の生徒8割以上 ・到達度テストの単元正答率8割以上 ・月1回以上、小テストの実施及び表彰制度の実施	B	B	家庭学習の課題対策。達成状況には数字を記入し判断しやすいようにしてほしい。授業の内容が理解できるということは、先生方の教え方が良いということだと思いますが、家庭学習については参考までですが、令和5年度家庭が収集時間は107分でした。もう少しバランスの良い学習スケジュールを考える必要があると思います。学習時間の安定化を望む。
		<b>【企画研修課】</b> ・公開授業週間、年1回以上	A	A	企画研修が全て実施できたことは、とても良いことでした。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同集団の授業、評価、年2回</li> <li>・授業研究グループによる授業実践、相互評価の実施</li> <li>・ICT活用等の校内研修年2回実施</li> </ul>			AI、DXリテラシーの向上は今後必要となると思われる。
		<b>【進路課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を対象：進路ガイダンス年2回以上実施</li> <li>・全生徒を対象 進路希望調査、個別面談の実施</li> <li>・就職・進学者の追跡調査の実施 在校生への還元</li> </ul>	B	B	就職、進学者の追跡調査は在校生にとって参考になるので、ぜひやってほしいです。
		<b>【生徒課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水高カードの発行枚数前年比-10%</li> <li>・進んで挨拶ができる生徒9割以上</li> </ul>	B	B	校舎建て替えもあつたなか、重大事故0件はA評価でよいと思います。
		<b>【保健課・各学科】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習、授業における重大事故発生件数0件</li> <li>・学期ごと、施設・設備等の安全点検を実施</li> </ul>	B	B	メンタル強化、状態把握が必要。
イ	将来のスペシャリストとして、確かな知識と技能の定着、職業人としての「志」を育成	<b>【進路課・各学科】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生対象インターンシップ参加率 100%</li> <li>・デュアルシステムによる企業研修 参加生徒数前年比+10%</li> <li>・3年生 進路実現100%</li> <li>・学科関連企業等への就職、進学率 85%以上</li> </ul>	B	B	
ウ	地域の発展を見据えて、全国・世界に羽ばたくグローバル人材の育成	<b>【教務課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期海外留学等の派遣者数 1人以上（継続）</li> </ul>	A	A	グローバル人材の育成はもっと必要なことだと思います。日本人の世界共通とされる英語力は中国、韓国、台湾、ベトナムよりも低いのが現状です。積極的な支援は不可欠なことです。
エ	「自己肯定感」の向上、「多様な価値観を共有」できる豊かな人間性を育む	<b>【生徒課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入生徒の割合100%</li> <li>・「自分が成長した」と実感できる 生徒 8割以上</li> <li>・生徒による主体的な企画、運営が行われている</li> <li>・社会貢献活動等に生徒が積極的に参加している</li> </ul>	B	B	成長の自己認識が80%弱に終わり残念。B評価になるも、Aに近いと思います。

		<b>【図書課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒貸出冊数 3冊以上 (年間一人平均)</li> <li>・朝読書の推奨</li> <li>・図書委員会によるイベントの企画、開催年2回以上</li> </ul>	B	B	
オ	健康な心身の育成及び「自他の安全を守る」意識の醸成	<b>【総務課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、津波避難訓練 年2回実施</li> <li>・「災害時に適切な行動がとれる」と答える生徒8割以上</li> </ul>	B	A	適切な行動 96.6%と高レベルにあることは評価できる。A評価でよいと思います。
		<b>【保健課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だより発行 年6回以上</li> <li>・薬学講座、熱中症予防講座の実施</li> </ul>	A	A	
		<b>【相談室】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気軽に相談できる教職員がいる」と答える生徒8割以上</li> <li>・担任、学年、保健室、相談室と連携したサポート会議の開催</li> <li>・SC(スクールカウンセラー)の活用、外部専門機関との連携強化</li> </ul>	A	A	生徒の性格もそれぞれなので8割以上が相談できるのなら、十分ではないでしょうか。
カ	学校経営基盤確立のための諸施策の推進	<b>【教務課・総務課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校HP、学校公開、マスメディア等を活用した情報発信の実践</li> <li>・SNS等を活用した保護者との連絡体制の研究、PTAの広報広聴活動の充実</li> </ul>	A	A	十分結果が出ていると思う。
		<b>【各学科】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や異校種と積極的な交流の実施</li> <li>・企業や大学等と連携した教育プログラムの開発</li> </ul>	A	A	
		<b>【管理職】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令順守、誇りと使命感の涵養が図られている</li> <li>・組織全体で業務の効率化、働きやすい職場づくりに取り組んでいる</li> </ul>	B	B	
		<b>【事務室】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正で効率的な予算執行がなされている</li> <li>・施設設備の定期点検、必要に応じた修繕がなされている</li> </ul>	A	A	全てにおいて予定通りに進行できてよかったと思います。

(2) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	「基礎的学力」、 「自己理解力」、 「将来設計力」、 「社会適応力」、 「危機管理能力」 等を備えた人材 の育成	<b>【教務課】</b> ・「授業が理解できた」と答える生徒8割以上 ・一日の家庭学習時間(平日)60分以上の生徒8割以上 ・到達度テストの単元正答率8割以上 ・月1回以上、小テストの実施及び表彰制度の実施	B	B	3年次の学習時間が60分に満たない生徒3/4という現状の理由の分析が必要。 授業が理解できた生徒(85.1%)は良いが、3年生の学習を定着させる工夫が必要。
		<b>【企画研修課】</b> ・公開授業週間 年1回以上 ・同集団の授業評価 年2回 ・授業研究グループによる授業実践、相互評価の実施 ・ICT活用等の校内研修 年2回実施	A	A	予定されていた研修がすべて実施できたのは高い評価を与えられる。
		<b>【進路課】</b> ・全学年を対象進路ガイダンス 年2回以上実施 ・全生徒を対象 進路希望調査個別面談の実施 ・就職/進学者の追跡調査の実施 在校生への還元	B	B	大学進学者(在学中)への追跡調査の実施と在学生へのフィードバックを行ったほうが良い。追跡調査は、在校生にとっても必要なこと。
		<b>【生徒課】</b> ・水高カードの発行枚数 前年比-10% ・進んで挨拶ができる生徒 9割以上	B	B	自転車利用者のヘルメット着用率が増えているようだ。 交通事故の減少は良いこと。 生活の基本となる挨拶ができる と自己評価する生徒が95%以上となるように目指してほしい。
		<b>【保健課・各学科】</b> ・実習、授業における重大事故発生件数0件 ・学期ごと、施設・設備等の安全点検を実施	A	A	重大事故0を実現したい。 安全点検は重要なこと、今後も継続を。
イ	将来のスペシャリストとして、確かな知識と技能の定着、職業人としての「志」の育成	<b>【進路課・各学科】</b> ・2年生対象インターンシップ参加率 100% ・デュアルシステムによる企業研修 参加生徒数 前年比+10% ・3年生 進路実現100% ・学科関連企業等への就職、進学率 85%以上	B	B	今は目標を達成しやすい環境にある。 「学科関連」の進路実現については、「水産業」という枠で判断してもよい。

ウ	地域の発展を見据えて、全国・世界に羽ばたくグローバル人材の育成	【教務課】 ・短期海外留学等の派遣者数1人以上(継続)	A	A	今後も積極的に支援することが望ましい。
エ	「自己肯定感」の向上、「多様な価値観を共有」できる豊かな人間性を育む	【生徒課】 ・部活動加入生徒の割合100% ・「自分が成長した」と実感できる生徒8割以上 ・生徒による主体的な企画、運営が行われている ・社会貢献活動等に生徒が積極的に参加している	B	A	生徒の自己肯定感は、学校生活の充実度合いに比例すると考えられる。 部活動加入率100%と、自己の成長を感じたとする生徒8割以上は大きな成果。
		【図書課】 ・生徒貸出冊数3冊以上(年間1人平均) ・朝読書の推奨 ・図書委員会によるイベントの企画開催年2回以上	B	B	今後は電子書籍への対応が必要となる。新校舎移転の影響などもあったが、成果を上げた。
オ	健康な心身の育成及び「自他の安全を守る」意識の醸成	【総務課】 ・防災、津波避難訓練 年2回実施 ・「災害時に適切な行動がとれる」と答える生徒8割以上	B	A	防災については、適切な行動がとれるということが一番大切である。
		【保健課】 ・保健日より発行年6回以上 ・薬学講座、熱中症予防講座の実施	A	A	成果目標が達成されている。今後も継続を。
		【相談室】 ・「気軽に相談できる教職員がいる」と答える生徒8割以上 ・担任、学年、保健室、相談室と連携したサポート会議の開催 ・SC(スクールカウンセラー)の活用、外部専門機関との連携強化	A	B	SCの活用等外部機関との連携強化は大切。 「気軽に相談できる」と回答した生徒が6割にとどまる。コミュニケーションがとりやすくなるような工夫が必要。自己肯定感の向上にもリンクする。
カ	学校経営基盤確立のための諸施策の推進	【教務課・総務課】 ・学校HP、学校公開、マスメディア等を活用した情報発信の実践 ・SNS等を活用した保護者との連絡体制の研究、PTAの広報広聴活動の充実	A	A	各学科でどのような資格が取得できるかを学校HP等で系統的に案内できるとよい。 学校のピーアールがうまくいっている。
		【各学科】 ・地域や異校種と積極的な交流の実施 ・企業や大学等と連携した教育プログラムの開発	A	A	積極的に取り組んでいるが、今後も継続が必要。

	<p><b>【管理職】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令順守、誇りと使命感の涵養が図られている</li> <li>・組織全体で業務の効率化、働きやすい職場づくりに取り組んでいる</li> </ul>	B	B	成果目標はおおむね達成されている。
	<p><b>【事務室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正で効率的な予算執行がなされている</li> <li>・施設設備の定期点検、必要に応じた修繕がなされている</li> </ul>	A	A	燃料費の高騰等が実習に影響しないような対応を。

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和5年度	<p>(1)「知財力開発校支援事業」(独立行政法人工業所有権情報・研修館主催)採択(再開)</p> <p>(2)学習支援アプリ「スタディサプリア」活用による基礎学力向上の取組(継続)、生徒の体調管理や遅刻欠席連絡、その他、生徒や保護者等との連絡用アプリ「e-ラーニング」の活用取組(継続)、Google クラスルームの活用取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員、生徒ともに知財への興味・関心が高まり、知財を保護・活用する姿勢が身に付いた。</li> <li>・スタディサプリアを使った家庭学習と基礎学力定着に継続的な指導に取組む。</li> <li>・生徒1人1台端末 chromebook の導入と Google クラスルーム等のICTを授業や学校生活で活用する方法の研究を行った。</li> </ul>
令和6年度	<p>(1)学習支援アプリ「スタディサプリア」活用による基礎学力向上の取組(継続)、生徒の体調管理や遅刻欠席連絡、その他、生徒や保護者等との連絡用アプリ「e-ラーニング」の活用取組(継続)、Google クラスルームの活用取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサプリアを使った家庭学習と基礎学力定着に継続的な指導に取組む。</li> <li>・生徒1人1台端末 chromebook の導入と Google クラスルーム等のICTを授業や学校生活で活用する方法の研究を行った。</li> </ul>

#### 5 教職員について

##### (1) 令和5年度末異動状況

(単位：人)

職名	減		増		差引増減
	転出者	退職者	転入者	新任者	
教諭	△2		3		1
再任用(フル)	△1				△1
再任用(ハーフ)		△2	1		△1
実習助手			1		1
主査	△1		1		0
主任	△1		1		0
本務計	△5	△2	7	0	0
臨時教諭		△1		0	△1
臨時実習助手		△1		0	△1
非常勤講師		△1		2	1
合計	0	△3	0	2	△1

## (2) 現員数

(令和6年4月1日現在) (単位:人)

職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	技能長	小計	船長	機関長	主査	主任	主任技能員	技能員	小計	本務計
男	1	1	1	37		5	45	1	1	2	1	5	1	1	3	2	1	8	16	66
女				10	1	1	12		2			2								14
計	1	1	1	47	1	6	57	1	3	2	1	7	1	1	3	2	1	8	16	80

職名 区分	教諭	主事	非常勤講師	非常勤労務職員	部活動支援員	スクールカウンセラー	臨時・会計年度任用計	合計
男	3		5	2	1		11	77
女		1	2			1	4	18
計	3	1	7	2	1	1	15	95

## (3) 健康管理について

&lt;令和6年度&gt;

目的	取組内容	成果・課題
ア 定期健康診断の実施	・100%の実施を個々に促す	・健診の確実な受診を全職員に促した。
イ 職場環境の充実	・職員安全衛生委員会の開催(毎月1回実施) ・校舎改築に伴う職場環境の整備	・職員会議と同日の開催とすることで、毎月実施することができた。
ウ 教職員の身体及び精神的健康の保持増進	・定時退勤日の設定と促進	・休業中における休暇取得促進日の設定は大変効果があった。定時退勤には課題を残す。
エ 感染症対策に係る体調の自己管理の推進	・手洗い消毒の徹底 ・感染対策の正しい理解と周知	・マスクの着用等、職員皆で心掛け、実践することができた。

## (4) 教職員の研修について

&lt;令和6年度&gt;

## ア 校内委員会「ICT推進委員会」の設置

(目的)

生徒が活用する情報機器の導入支援(BYOD方式)と、情報端末を授業等への積極活用を図る。

(内容)

- ・生徒一人一台端末の導入支援(機器の選定他)
- ・ICT機器を活用した授業改善
- ・校内研修等を通じた情報交換

## イ 校内研修

(目標)

## 授業改善、授業づくりの積極的推進（ICTの利活用）

（内容）

- ・公開授業週間の実施（6月3日～6月15日、9月17日～9月28日）
- ・授業評価項目を学校教育目標に基づいて見直し、教職員相互評価と生徒評価を連動させて、授業改善に活かす。
- ・生徒による授業評価の実施（年2回）全教員が、同じ授業集団で2回実施する。評価の変化から「授業改善」の達成度を測る。
- ・外部講師による講演を実施
- ・ICTエキスパート派遣事業を10月に実施（BYOD操作技術の向上と、授業での利活用の促進）し、1月には生徒、教員の自己肯定感向上のための研修を行った。その他に、校内ICT研修を4回実施した。

### ウ 校外研修

- a 文科省 産業・情報技術指導者養成研修（0人）
- b 初任者研修（3人）、2年次研修（0人）、3年次研修（0人）
- c 6年次研修（1人）、7年次研修（1人）、8年次研修（0人）
- d 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期（1人）、Ⅱ期（2人）

## 6 防災対策について

### (1) 目標

学校経営計画の重点目標として「自らの安全を自ら守る意識の醸成」が挙げられており、校内の防災はもちろんのこと地域防災における役割の認識と責任感を持たせる。

### (2) 取組内容

<令和6年度>

事 項	時 期	内 容・成 果
防災マニュアル配布	5月	災害・事故発生時の対応、動員計画の周知を図る。
第1回防災訓練	7月18日	校内の防災訓練を実施した。
地域防災連絡会議	11月9日	地元の町内会、市防災局との連絡会議。地震発生時の各役割分担等を確認。津波避難の確認を行った。
第2回防災訓練	12月21日	校内の防災訓練を実施した。
第3回防災訓練	3月18日	新校舎での避難経路を確認した。

（課題）

より実際に即した対応を考えた時、発災時刻等に応じた対策が課題となる。特に週休日の場合、本校参集職員が、どのような役割をもって、地域住民の対応に当たるのか。想定幅を広げ、様々な対応を描いておくことが求められる。

## 7 学校開放について

地域社会との連携を深め、家庭や地域社会とともに子供達を育成する開かれた学校を目指し、生涯スポーツの振興に寄与するため体育施設等（体育館、武道場、運動場、実習船）を開放（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度から令和4年度まで施設開放中止、5年度5月以降解放再開）している。

### (1) 実習船

<令和6年度>

- ・「やいづ少年の船」体験航海

募集：焼津市在住の中中学生36名

期日：令和6年7月24日（水）～26日（金）

内容：焼津港から伊豆大島への体験航海と船長講和、船内見学、実習体験等

(2) 体育施設

地域社会との連携を深め、家庭や地域社会とともに子供達を育成する開かれた学校を目指し、生涯スポーツの振興に寄与するため体育施設等を開放した。

<令和6年度>

施設名	利用日数	利用人数	利用者負担金	主な利用種目
武道場	84 日	2,179 延人	電気料 22,378 円	レスリング
運動場	3	104		野球

※施設開放登録団体数・・・4 団体

(令和7年1月31日現在)

□□□□□□

事務執行の根拠法令調

項目	根拠法令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 船員法 船舶安全法 船舶職員及び小型船舶操縦士法 国際船舶・港湾保安法 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律 静岡県立学校授業料等徴収条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び静岡県高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）

□□□□□□

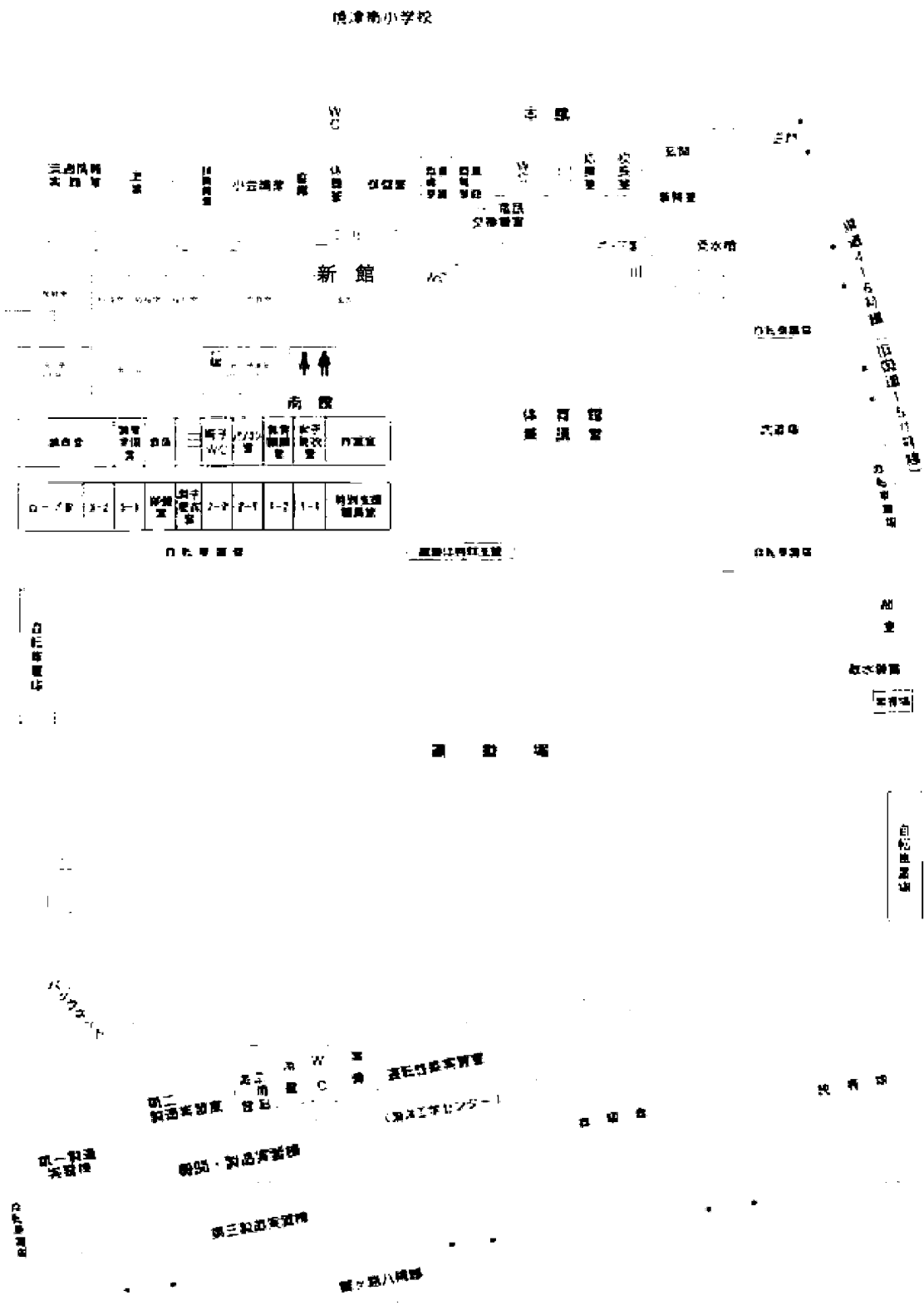
## 学校施設の概要

### 1 面積及び所有区分

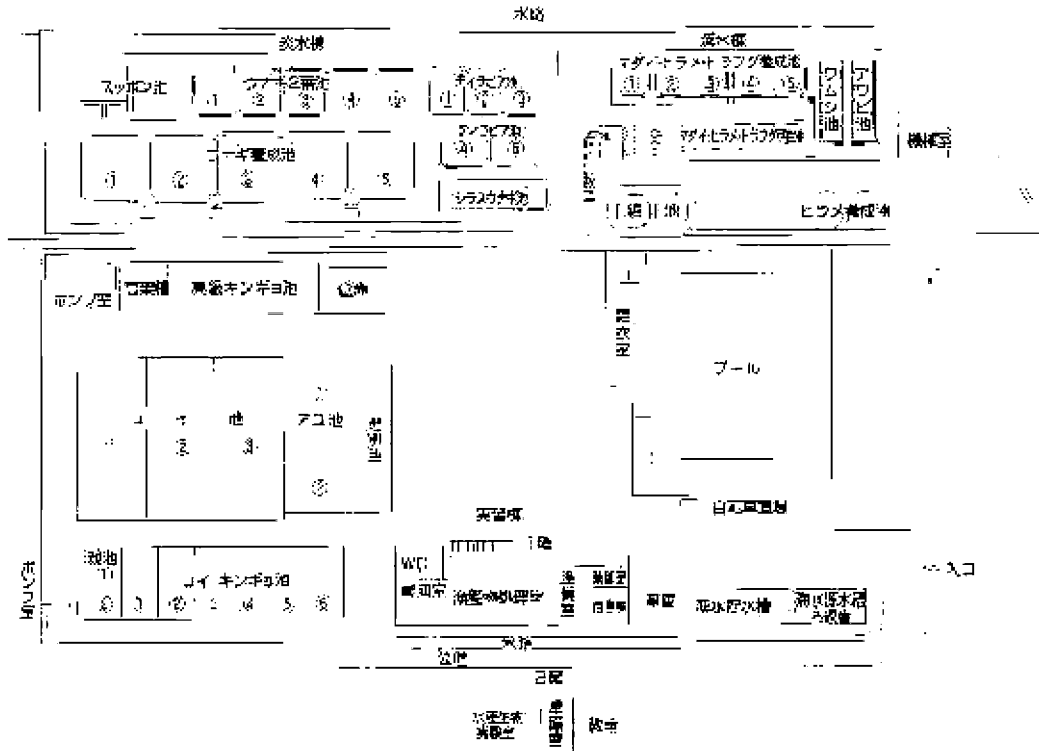
(令和7年1月31日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学 校 敷 地	28,179.47	28,042.65		16.80		120.02	
内 訳	校 舎 敷 地	12,754.40	12,754.40				
	運 動 場 敷 地	13,283.02	13,283.02				
	そ の 他 の 敷 地	2,142.05	2,005.23		16.80	120.02	県有の内漁港施設占有 海洋訓練用艇庫 568.40㎡ 漁具・船具庫 214.76㎡
実 習 地	9,371.80	9,371.80					水産実習用地
校 舎	建4,570.76 延16,165.86	建4,570.76 延16,165.86					
体 育 館	建1,184.08 延1,476.46	建1,184.08 延1,476.46					
武 道 場	建567.00 延567.00	建567.00 延567.00					
その他の建物	建3,758.54 延4,022.02	建3,758.54 延4,022.02					
寄 宿 舎	建375.27 延807.12	建375.27 延807.12					
プ ー ル	1個	1個					25m

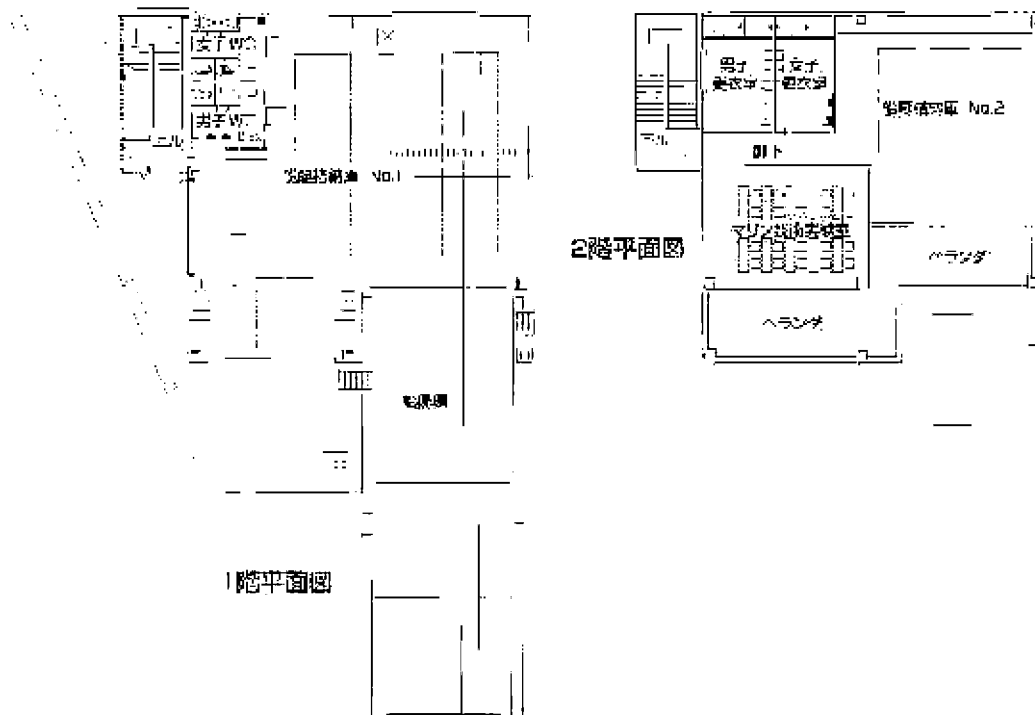
2 配置・規模等  
 (1)校舎等の配置図



臨海実習場配置図 (馬津市小川3828)



マリン技術実習棟配置図 (馬津市小川3899-15)



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	28,179.47㎡	16,165.86㎡	13,283.02㎡
県平均	45,599.25㎡	9,733.60㎡	22,470.91㎡

□□□□□□

在 籍 生

学年	学科別	全 口 制																			
		海洋科学科				栽培漁業科				食品科学科				流通情報科				小 計			
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者	80	68	7	75	40	29	10	39	40	23	17	40	40	13	21	34	200	133	55	188
	増加																				
	減少		3		3		1		1						1		1		5		5
	現 在		65	7	72		28	10	38		23	17	40		12	21	33		128	55	183
2年	入学者	80	54	10	64	40	26	15	41	40	18	22	40	40	24	14	38	200	122	61	183
	増加																				
	減少						2		2		1	1							2	1	3
	2年時当初		54	10	64		24	15	39		18	21	39		24	14	38		120	60	180
	増加																				
	減少		4		4						1	1			1	2	3		5	3	8
	現 在		50	10	60		24	15	39		18	20	38		23	12	35		115	57	172
3年	入学者	80	61	9	70	40	27	8	35	40	20	21	41	40	10	15	25	200	118	53	171
	増加																				
	減少		6		6		1		1		2	1	3		1	1	2		10	2	12
	2年時当初		55	9	64		26	8	34		18	20	38		9	14	23		108	51	159
	増加																				
	減少		3	1	4														3	1	4
	3年時当初		52	8	60		26	8	34		18	20	38		9	14	23		105	50	155
	増加																				
	減少		2		2														2		2
	現 在		50	8	58		26	8	34		18	20	38		9	14	23		103	50	153
合 計		240	165	25	190	120	78	33	111	120	59	57	116	120	44	47	91	600	346	162	508

徒 調

(令和7年1月31日現在)

専 攻 科								合 計			
航海工学科				小 計							
定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計	定員	男子	女子	合計
15	10	1	11	15	10	1	11	215	143	56	199
									5		5
	10	1	11		10	1	11		138	56	194
15	15		15	15	15		15	215	137	61	198
	1		1		1		1		3	1	4
	14		14		14		14		134	60	194
									5	3	8
	14		14		14		14		129	57	186
15	16		16	15	16		16	215	134	53	187
									10	2	12
	16		16		16		16		124	51	175
									3	1	4
	16		16		16		16		121	50	171
									2		2
	16		16		16		16		119	50	169
45	40	1	41	45	40	1	41	645	386	163	549

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分	令 和 3 年 度					令 和 4 年 度					
	全 日 制				専攻科	全 日 制				専攻科	
学 科 別	海洋 科学	栽培 漁業	食品 科学	流通 情報	航海 工学	海洋 科学	栽培 漁業	食品 科学	流通 情報	航海 工学	
生徒定員(A)	80	40	40	40	15	80	40	40	40	15	
募集者数(B)	80	40	40	40	15	80	40	40	40	15	
志願者数	男	49	28	16	11 (1)	15	61	27	20	10 (1)	16
	女	7	8	18 (1)	17	0	9	8	21	15	0
	計(C)	56	36	34 (1)	28 (1)	15	70	35	41	25 (1)	16
受検者数	男	49	28	16	11 (1)	15	61	27	20	10 (1)	16
	女	7	8	18 (1)	17	0	9	8	21	15	0
	計(D)	56	36	34 (1)	28 (1)	15	70	35	41	25 (1)	16
合格者数	男	49	28	16	11 (1)	15	61	27	20	10 (1)	16
	女	7	8	18 (1)	17	0	9	8	21	15	0
	計(E)	56	36	34 (1)	28 (1)	15	70	35	41	25 (1)	16
志願倍率(C)/(B)	0.70	0.90	0.85	0.70	1.00	0.88	0.88	1.03	0.63	1.07	
受検倍率(D)/(B)	0.70	0.90	0.85	0.70	1.00	0.88	0.88	1.03	0.63	1.07	
入学者数	男	49	28	16	11	15	61	27	20	10 (1)	16
	女	7	8	18	17	0	9	8	21	15	0
	計(F)	56	36	34	28	15	70	35	41	25 (1)	16
充足率(F)/(A)	0.70	0.90	0.85	0.70	1.00	0.88	0.88	1.03	0.63	1.07	

(1)人数は、再募集

令和5年度					令和6年度					令和7年度				
全日制				専攻科	全日制				専攻科	全日制				専攻科
海洋科学	栽培漁業	食品科学	流通情報	航海工学	海洋科学	栽培漁業	食品科学	流通情報	航海工学	海洋科学	栽培漁業	食品科学	流通情報	航海工学
80	40	40	40	15	80	40	40	40	15	80	40	40	40	15
80	40	40	40	15	80	40	40	40	15	80	40	40	40	15
46	42	18	21	16	70	30	23	13	12	58 (1)	39	26	17	15
10	18	26	9	0	7	10	17	21	1	7 (1)	11	17	22	0
56	60	41	30	16	77	40	40	34	13	65 (2)	50	43	39	15
46	41	18	21	16	69	30	23	13	12	57 (1)	39	26	17	16
10	18	26	9	0	7	10	17	21	1	7 (1)	11	17	22	0
56	59	44	30	16	76	40	40	34	13	64 (2)	50	43	39	16
54	26	18	24	16	68	29	23	13	12	64 (1)	32	25	19	16
10	15	23	14	0	7	10	17	21	1	9 (1)	9	16	22	0
64	41	41	38	16	75	39	40	34	13	73 (2)	41	41	41	16
0.70	1.50	1.10	0.75	1.07	0.96	1.00	1.00	0.85	0.87	0.81	1.25	1.08	0.98	1.00
0.70	1.48	1.10	0.75	1.07	0.95	1.00	1.00	0.85	0.87	0.80	1.25	1.08	0.98	1.07
53	26	18	24	16	68	29	23	13	10	63 (1)	32	25	19	15
10	15	22	14	0	7	10	17	21	1	9 (1)	9	16	22	0
63	41	40	38	16	75	39	40	34	11	72 (2)	41	41	41	15
0.79	1.03	1.00	0.95	1.07	0.94	0.98	1.00	0.85	0.73	0.90	1.03	1.03	1.03	1.00

□□□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況(全日制)

学 科 別		海洋科学科			栽培漁業科			食品科学科			流通情報科			計			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒 業 生 徒 数		75	54	58	40	35	34	27	33	38	23	27	22	165	149	152	
内 訳	(進学志願者)	(31)	(26)	(26)	(12)	(12)	(12)	(6)	(15)	(15)	(10)	(13)	(13)	(59)	(66)	(66)	
	進学者	大学・短大	9	11	12	5	8	6	2	6	10	2	5	2	18	30	30
		専修・各種学校等	21	15	21	7	4	3	4	9	6	8	8	3	40	36	33
		小 計	30	26	33	12	12	9	6	15	16	10	13	5	58	66	63
	就 職 者	44	26	24	28	23	25	21	17	22	13	14	17	106	80	88	
	自 営 者		2	1					1						3	1	
	進学準備者	1												1			
そ の 他																	
合 計		75	54	58	40	35	34	27	33	38	23	27	22	165	149	152	

(専攻科)

学 科 別		航海工学科			
年 度		4年度	5年度	6年度	
卒 業 生 徒 数		15	16	14	
内 訳	(進学志願者)				
	進学者	大学・短大			
		専修・各種学校等			
		小 計			
	就 職 者	16	15	14	
	自 営 者				
	進学準備者				
そ の 他					
合 計		16	15	14	

2 求人状況(全日制)

区分	4年度	5年度	6年度
就 職 希 望 者 数	106	80	88
求 人 数	846	811	887
求 人 倍 率	8.0	10.1	10.1

## 3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		海洋科学科	栽培漁業科	食品科学科	流通情報科	本科計	専攻科
卒 業 生 徒 数		58	34	38	22	152	14
海 技 士	3級(航海)						7
	3級(機関)						7
小型船舶操縦士(1級)		44	4			48	
小型船舶操縦士(2級)		6	5			11	
危険物取扱者	乙種1類						
	乙種2類						
	乙種3類						
	乙種4類						
	乙種5類						
	乙種6類						
	丙 種	1				1	
潜 水 士		8	7			15	
海上特殊無線 技 士	第1級	6				6	
	第2級	2				2	
	第3級	64				64	
ガス溶接技能者講習修了者		3				3	
アーク溶接業務特別教育講習修了者		5				5	
ボ イ ラ ー 技 士 ( 2 級 )							
水産食品技能 検 定	第1類			37		37	
	第2類			21		21	
	第3類			32		32	
H A C C P 基 本 技 能 検 定			25	34	22	81	
調 理 師			1	2		3	
栽培漁業技術 検 定	1 級		20			20	
	2 級		27			27	
潜水技術検定	1 級						
	2 級	16				16	
簿記実務検定(2～3級)					16	16	
日本語ワープロ検定(1～4級)		45	31	36	20	132	
実用英語検定(準2～4級)			3	5		8	
クレーン(つり上げ過重5t未満)特別教育修了		1				1	
フォークリフト(1t未満)特別教育修了		15	7	1		23	
合 計		216	130	168	58	572	14

□□□□□□

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年1月31日現在) (単位:人)

市町名	焼津市	藤枝市	島田市	静岡市	榛南		その他	県外	合計
生徒数	235	87	28	75	22		49	12	508
構成比%	46.3%	17.1%	5.5%	14.8%	4.3%		9.6%	2.4%	100%

(2) 通学方法 (令和7年1月31日現在) (単位:人)

区分	自転車	電車	バス	徒歩		合計
生徒数	323	144	12	29		508
構成比%	63.6%	28.3%	2.4%	5.7%		100%

### 2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年1月31日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		13	7		20
男子	1年	70	59	0	129
	2年	57	56	0	113
	3年	60	37	0	97
	専攻科1年				
	専攻科2年				
	計 (A)	187	152	0	339
	構成比	55.1%	44.9%	0%	100%
女子	1年	23	33	0	
	2年	13	44	0	
	3年	24	32	0	
	専攻科1年				
	専攻科2年				
	計 (B)	60	109	0	169
	構成比	35.5%	64.5%	0%	100%
(A+B)		247	261	0	508
合計	構成比	48.6%	51.4%	0%	100%

# 授業料収納状況調

(令和5年度)

期別	調定の状況											収納の状況			異動者等の状況		
	1年		2年		3年		専攻科1年		専攻科2年		計		納期内収納額			納期後 収納額	収入 未済額
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%			
一期	5						1	9,900			1	9,900	9,900	100.0			
	6										0	0					
	7	23	683,100	19	564,300	8	237,600	15	415,800	15	415,800	80	2,316,600	2,262,150	97.6	54,450	
	8							▲ 4,950			0	▲ 4,950	▲ 4,950		54,450		
	計	23	683,100	19	564,300	8	237,600	16	420,750	15	415,800	81	2,321,550	2,267,100	97.6	54,450	0
二期	9						1	19,800			1	19,800	19,800	100.0			
	10	25	1,237,500	20	990,000	9	445,500	14	613,500	14	668,250	82	3,984,750	3,786,750	95.0	198,000	
	11										0	0		198,000			
	12										0	0					
	計	25	1,237,500	20	990,000	9	445,500	15	663,300	14	668,250	83	4,004,550	3,806,550	95.0	198,000	0
三期	1	21	950,400	20	762,300	9	356,400	14	514,800	14	534,600	81	3,118,500	2,940,300	94.3	178,200	
	2										0	0		178,200			
	3										0	0					
	計	21	950,400	20	762,300	9	356,400	14	514,800	14	534,600	81	3,118,500	2,940,300	94.3	178,200	0
合計	72	2,871,000	59	2,316,600	26	1,039,500	45	1,598,550	43	1,618,650	245	9,444,600	9,013,950	95.4	430,650	0	

# 授業料収納状況調

(令和6年度)  
(令和7年1月31日現在)

期別	調定の状況											収納の状況			異動者等の状況		
	1年		2年		3年		専攻科1年		専攻科2年		計		納期内収納額			納期後 収納額	収入 未済額
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%			
一期	6										0	0					
	7	13	386,100	24	712,800	19	564,300	9	267,300	14	386,100	79	2,316,600	2,227,500	96.2		89,100
	8										0	0			89,100		0
	9										0	0					
	計	13	386,100	24	712,800	19	564,300	9	267,300	14	386,100	79	2,316,600	2,227,500	96.2	89,100	0
二期	9										0	0					
	10	17	841,500	28	1,366,000	26	1,287,000	9	445,500	14	643,500	94	4,603,500	4,306,500	93.5		297,000
	11										0	0			297,000		0
	12				▲ 19,800						0	▲ 19,800	▲ 19,800				0
	計	17	841,500	28	1,366,200	26	1,287,000	9	445,500	14	643,500	94	4,583,700	4,286,700	93.5	297,000	0
三期	1	17	673,200	26	1,029,600	26	1,029,600	9	356,400	14	514,800	92	3,603,600	3,504,600	97.3		99,000
	2										0	0					0
	3										0	0					0
	計	17	673,200	26	1,029,600	26	1,029,600	9	356,400	14	514,800	92	3,603,600	3,504,600	97.3	0	0
合計	47	1,900,800	78	3,108,600	71	2,880,900	27	1,669,200	42	1,544,400	265	10,503,900	10,018,800	95.4	386,100	0	0

A. 期首収納権利発生額=2,316,600円  
(77人×9,900×3月-2,286,900円)  
(2人×9,900×1/2×3月-29,700円)  
B. 収納権利増減(▲)額=0円  
C. 収納必要額A-B=2,316,600円

A. 期首収納権利発生額=4,603,500円  
(92人×9,900×5月-4,554,000円)  
(2人×9,900×1/2×5月-49,500円)  
B. 収納権利増減(▲)額=19,800円  
(内訳)  
10月1日: 2年: 支援金認定  
1人×9,900×2月=19,800円  
C. 収納必要額A-B=1,583,700円

A. 期首収納権利発生額=3,603,600円  
(90人×9,900×4月=3,564,000円)  
(2人×9,900×1/2×4月=39,600円)  
B. 収納権利増減(▲)額=0円  
C. 収納必要額A-B=3,603,600円

D. 収納必要額=10,503,900円

□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和5年度	令和6年度 (令和7年1月31日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	203	16

□□□□□□

過年度分収入未済額調

(令和7年1月31日現在)

区分 年度	雑収 (損害賠償請求)							
	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額
平成30年度 以前 (A)	0	0						
令和元年度	0	0						
令和2年度	0	0						
令和3年度	0	0						
令和4年度	0	0						
令和5年度	1	7,046,908						
計	1	7,046,908						
摘 要① (滞納処分 の停止等 の理由)								
摘 要② (不納欠損 処分の件 数、額)								
摘 要③ (A欄のうち、 1件10万円以上 の内訳)								

□□□□□□

### 預金調

(令和7年1月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行焼津支店	無利息型普通預金	26954	静岡県立焼津水産高等学校 資金前渡者 校長 沼里智彦	0	当日現金払いの会議参加費、 資料代、交際費
静岡銀行焼津支店	無利息型普通預金	284992	(自振口) 静岡県立焼津水産高等学校 資金前渡者 校長 沼里智彦	0	公共料金引き落とし
残高合計				0	

□□□□□□

### 郵便等受払調

(令和7年1月31日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和5年度						令和6年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵便	1円券			10	10			10	10			1	1	9	9	事務連絡川
	2円券	1	2					1	2					1	2	〃
	5円券	3	15					3	15			1	5	2	10	〃
	10円券	2	20	10	100	2	20	10	100			3	30	7	70	〃
	70円券	4	280			4	280									〃
	84円券	20	1,680	16	1,344	16	1,344	20	1,680			3	252	17	1,428	〃
	94円券	5	470	10	940	4	376	11	1,034			6	564	5	470	〃
	120円券	5	600	10	1,200	3	360	12	1,440			1	120	11	1,320	〃
	140円券	5	700			4	560	1	140					1	140	〃
	205円券	1	205					1	205					1	205	〃
	260円券			5	1,300			5	1,300			2	520	3	780	〃
	320円券	4	1,280			4	1,280									〃
	52円葉書	2	104					2	104					2	104	〃
	63円葉書			1	63	1	63									〃
	計		5,356		4,957		4,283		6,030				1,492		4,538	
タクシーチケット	なし															
	計															

□□□□□□

## 材 料 品 受 払 調

(令和7年1月31日現在)

区分 品名	令和5年度						令和7年1月31日現在						摘要		
	繰越		受人		払出		繰越		受人		払出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
小豆	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	60	42,120	60	42,120	0	0	60	47,520	60	47,520	0	0	
生餡			18	12,441	18	12,441	0	0	18	13,219	18	13,219	0	0	
澱粉	15.2	3,283	0	0	2.8	604	12.4	2,679	0	0	2.8	604	9.6	2,075	
精製塩	1.026	142	0.000	0	0.656	90	0.370	52	1.000	139	0.678	95	0.692	96	
ゆであずき用缶	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	
	3,496	136,442	0	0	1,377	53,741	2,119	82,701	0	0	1,528	59,635	591	23,066	
ゆであずき用ラベル	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
	1,327	38,682	3,000	87,450	1,344	39,178	2,983	86,954	0	0	1,021	29,762	1,962	57,192	
海苔	14,400	202,176	14,400	241,056	14,400	202,176	14,400	241,056	0	0	14,400	241,056	0	0	
醤油	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	
	0	0	828	201,916	432	102,124	396	99,792	36	9,072	432	108,864	0	0	
みりん	0	0	43.2	29,040	43.2	29,040	0	0	43.2	30,360	43.2	30,360	0	0	
酒	0	0	7.2	9,240	7.2	9,240	0	0	7.2	9,240	7.2	9,240	0	0	
ごま油	g	円	g	円	g	円	g	円	g	円	g	円	g	円	
	231	422	680	1,296	911	1,718	0	0	1,020	1,944	1,020	1,944	0	0	
グルタミン酸ナトリウム	773	719	0	0	160	155	613	591	0	0	120	116	493	478	
海苔用瓶	本	円	本	円	本	円	本	円	本	円	本	円	本	円	
	6,020	246,696	0	0	4,849	198,709	1,171	47,987	4,000	162,800	4,946	201,630	225	9,157	
海苔用キャップ	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
	7,961	98,517	0	0	4,849	60,006	3,112	38,511	4,400	58,080	5,346	68,000	2,166	28,591	
海苔用キャップシール	11,842	65,375	0	0	4,911	27,277	6,901	38,098	0	0	5,818	32,285	1,053	5,813	
海苔用ラベル	889	11,246	18,000	167,420	5,169	70,096	13,720	108,570	0	0	5,070	42,917	8,650	65,653	
ピンナガマグロ	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	903	292,572	903	292,572	0	0	993	530,858	993	530,858	0	0	
綿実油	116.490	38,432	181.5	91,800	176.99	69,032	121	61,200	181.5	91,800	166.370	84,148	136.130	68,852	
あら塩	1.8	457	7.2	1,827	7.2	1,827	1.8	457	6.0	2,041	7.8	2,498	0.0	0	
まぐろ油漬用缶	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	
	3,458	118,678	8,064	311,528	5,102	182,187	6,420	248,019	8,064	313,036	5,748	222,058	8,736	338,997	
ソリッド用缶ラベル	1,969	48,733	3,200	89,100	4,006	109,049	1,163	28,784	4,000	61,600	3,820	69,702	1,343	20,682	
フレーク用缶ラベル	1,006	24,859	1,000	24,750	1,084	26,789	922	22,820	2,000	30,800	1,677	34,147	1,245	19,173	
酢	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	ℓ	円	
	1.893	318	3.600	1,468	2.253	465	3.240	1,321	3.600	1,060	6.840	2,381	0.000	0	
レトルト袋	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
	842	31,828	0	0	116	4,385	726	27,443	0	0	141	5,330	585	22,113	
みかん	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	700	18,900	700	18,900	0	0	800	21,600	266	7,182	534	14,418	
グラニュー糖	0	0	90	22,939	90	22,939	0	0	120	31,881	0	0	120	31,881	
塩酸	20	2,750	60	8,910	55	7,947	25	3,713	40	5,940	18	2,673	47	6,980	
水酸化ナトリウム	30	6,974	25	6,490	35	8,272	20	5,192	0	0	1.3	337	18.7	4,855	
みかん用缶	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	
	3,759	158,521	0	0	1,983	82,956	1,776	75,565	3,168	144,619	0	0	4,944	220,184	
みかん用ラベル	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
	2,295	84,571	0	0	1,858	68,468	437	16,103	3,000	85,800	0	0	3,437	101,903	
ごま鯖	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	200	43,200	200	43,200	0	0	0	0	0	0	0	0	
並塩	29	2,149	25	2,160	30	2,235	24	2,074	25	2,160	49	4,234	0	0	

区分 品名	令和5年度						令和7年1月31日現在						摘要		
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
鯖用缶	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	個	円	
	1,467	53,837	0	0	751	27,561	716	26,276	4,032	190,714	0	0	4,748	216,990	
鯖用ラベル	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
	904	38,284	0	0	667	28,247	237	10,037	1,000	42,350	0	0	1,237	52,387	
上白糖	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	720	181,180	360	86,313	360	94,867	0	0	360	94,867	0	0	
クエン酸															
	0.46	795	0.5	880	0.77	1,341	0.19	334	1.00	1,728	0.21	368	0.98	1,694	
計		1,414,916		1,889,683		1,933,400		1,371,199		1,890,361		1,948,330		1,313,230	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和4年度	5年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		236,500	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		3,074,272	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		3,340,150	
計					6,650,922	6,650,922	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		10,246,500	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		45,892,000	
計					56,138,500	56,138,500	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		940,310	
計					940,310	940,310	0
(18) 負担金、補助及 び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		54,300,070	
計					54,300,070	54,300,070	0
(21) 補償、補填及び 賠償金							
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年1月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	881,155	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	3,010,351	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	4,689,850	
計					8,581,356	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	3,729,000	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	58,080,000	
計					61,809,000	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	330,000	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	
計					330,000	0
(18) 負担金、補助及 び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	54,163,320	
計					54,163,320	0
(21) 補償、補填及び 賠償金						
計					0	0

委託料に関する調

(令和5年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額 円	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額 円	委託業務の内容	摘要
				当初額 円	変更増減額 円	計 円						
1	（事務関係） 自家用電気 上作物保安 管理業務 委託	野村電気保安 管理事務所 野村一也	999,992	997,920	152,549	1,150,469	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.31 83,160 5.6.30 83,160 5.7.31 83,160 5.8.31 83,160 5.9.29 83,160 5.10.31 83,160 5.11.30 83,160 5.12.27 112,457 6.1.31 113,973 6.2.29 113,973 6.3.29 113,973 6.4.30 113,973 小計 1,150,469	自家用電気工作物の 保安管理業務 N:3基 焼津水産高校 500KVA→1200KVA 加 (発電装置31.5KVA) 焼津水産高校臨海実習場 130KVA (発電装置54KVA) 焼津中央高校 250KVA	随契1号 (少額) 焼津中央高校	
2	エレベーター 保守点検業務 委託	中部機電サービス 株式会社	409,200	409,200	0	409,200	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.31 27,775 5.6.30 37,675 5.7.31 27,775 5.8.31 27,775 5.9.29 73,975 5.10.31 27,775 5.11.30 27,775 5.12.27 37,675 6.1.31 27,775 6.2.29 27,775 6.3.29 37,675 6.4.30 27,775 小計 409,200	昇降機保守点検 第一製造実習棟 人荷用 N:1基 機関・製造実習棟 小荷物専用 N:1基	随契1号 (少額)	
3	防鼠防虫業務 委託	株式会社帝装化 成 静岡営業所	154,000	145,200	0	145,200	随契	5.4.6 ～ 6.3.29	5.5.19 11,550 5.6.20 11,550 5.7.20 11,550 5.8.18 11,550 5.9.20 14,850 5.10.20 11,550 5.11.20 11,550 5.12.20 11,550 6.1.19 11,550 6.2.20 11,550 6.3.19 14,850 6.4.19 11,550 小計 145,200	害虫、鼠の駆除 N:9箇所 調理室、調理準備室 第一製造実習棟(2箇所) 機関・製造実習棟(2箇所) 第三製造実習棟 寄宿舎(厨房・食堂)	随契1号 (少額)	
4	臨海実習場 ボイラー保守 点検業務委託	青島ポンプ工業 株式会社	998,800	990,000	0	990,000	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.7.31 495,000 6.4.30 495,000 小計 990,000	ボイラー保守点検 N:3台 臨海実習場 パコテンヒーター(2台) 温水VFCヒーター(1台)	随契1号 (少額)	
5	産業廃棄物 処理業務委託	株式会社 アドバンス中部 サービス	2㎡あたり 27,500	2㎡あたり 27,500	0	2㎡あたり 27,500	随契	5.4.6 ～ 6.3.29	5.7.20 27,500 5.9.15 27,500 6.1.31 55,000 6.2.22 27,500 6.3.15 82,500 6.4.5 35,000 小計 275,000	不燃物 運搬・処分 学校・臨海実習場	随契1号 (少額) 単価契約	
6	寄宿舎食調理 (配膳)業務 委託	株式会社 ホーユー	20,205,381	9,900,000	0	9,900,000	一般	2.8.1 ～ 5.7.31	5.5.31 275,000 5.6.30 275,000 5.7.31 275,000 5.8.31 275,000 小計 1,100,000	寄宿舎食調理配膳	R2-5長期	
7	寄宿舎食調理 (配膳)業務 委託	株式会社 ホーユー	17,473,500	10,483,500	▲10,370,983	112,517	一般	5.8.1 ～ 8.7.31	6.3.14 112,237 小計 112,237	寄宿舎食調理配膳 受託者の破産により9/8契 約解除。3/14 8月履行分 支出	R5-8長期	
8	寄宿舎食調理 (配膳)業務 委託	静岡給食協同組 合	17,149,440	16,890,390	0	16,890,390	一般	5.11.10 ～ 8.7.31	5.12.27 511,830 6.1.31 511,830 6.2.29 511,830 6.3.29 511,830 6.4.30 511,830 小計 2,559,150	寄宿舎食調理配膳	R5-8長期	

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
9	寄宿舎食調理(配膳)業務委託	静岡給食協同組合	132,400	132,400	0	132,400	随契	5.11.10 ～ 6.3.31	6.1.31 35,000 6.2.29 40,550 6.3.29 25,550 6.4.30 13,500 小計 114,600	寄宿舎食調理配膳 食料品価格高騰に係る舎 食費値上げ分公費負担	概算所要	
10	実習船やいづ可燃物収集運搬処分業務委託	環境のミカタ株式会社	運搬料 6,600円/ 回 処分料 15.4円/kg	運搬料 6,600円/ 回 処分料 15.4円/kg	0	運搬料 6,600円/ 回 処分料 15.4円/kg	随契	5.4.7 ～ 6.3.31	5.5.19 15,294 5.6.20 6,939 5.7.20 16,480 5.8.18 16,403 5.9.20 7,878 5.10.23 7,015 5.11.20 9,372 5.12.20 15,602 6.1.19 9,849 6.2.20 13,800 6.4.19 9,017 小計 127,649	可燃物(紙屑等) 収集運搬処分	随契1号 (少額) 単価契約	
11	実習船やいづ産業廃棄物処理委託	株式会社 アドバンス中部 サービス	2mあたり 19,800	2mあたり 19,800	0	2mあたり 19,800	随契	5.4.17 ～ 6.3.31	5.7.20 39,600 5.12.27 39,600 6.3.19 39,600 6.4.5 39,600 小計 158,400	不燃物 収集運搬処分	随契1号 (少額) 単価契約	
12	実習船やいづ船舶警備保安業務委託	増田 静夫	334,950	180,900	0	180,900	随契	5.12.28 ～ 6.1.4	6.1.15 180,900 小計 180,900	船内及び周辺巡視、監視	随契1号 (少額)	
13	物品移送業務委託	ヤマトホームコンビニエンス株式会社 静岡支店	12,304,600	7,590,000	0	7,590,000	一般	5.12.13 ～ 6.3.29	6.3.29 7,590,000 小計 7,590,000	物品移送業務 旧校舎から新校舎へ		
14	産業廃棄物処理業務委託(製造実習棟用コンテナ)	株式会社 アドバンス中部 サービス	99,000	99,000	0	99,000	随契	5.7.5 ～ 5.9.29	5.10.23 99,000 小計 99,000	不燃物 運搬・処分 製造実習棟	随契1号 (少額)	
15	産業廃棄物(水銀使用製品)収集運搬業務委託	日本産業廃棄物 処理株式会社	312,125	312,125	0	312,125	一般	6.1.22 ～ 6.3.29	6.2.21 312,125 小計 312,125	水銀使用製品収集運搬 校舎移転に伴う廃棄	随契1号 (少額)	
16	産業廃棄物(水銀使用製品)処分業務委託	J&T環境株式会 社	312,125	312,125	0	312,125	一般	6.1.22 ～ 6.3.29	6.2.29 312,125 小計 312,125	水銀使用製品処分 校舎移転に伴う廃棄	随契1号 (少額)	
17	産業廃棄物処理業務委託(移設作業にかかると不用品処分)	株式会社 アドバンス中部 サービス	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.2.1 ～ 6.3.29	6.3.19 99,000 小計 99,000	不燃物 運搬・処分 校舎移転に伴う不用品処分	随契1号 (少額)	
18	産業廃棄物処理業務委託(移設作業にかかると不用品処分)	株式会社 アドバンス中部 サービス	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.2.14 ～ 6.3.29	6.4.3 99,000 小計 99,000	不燃物 運搬・処分 校舎移転に伴う不用品処分	随契1号 (少額)	
19	産業廃棄物(薬品)収集運搬業務委託	日本産業廃棄物 処理株式会社	460,075	460,075	0	460,075	一般	6.2.15 ～ 6.3.29	6.3.19 460,075 小計 460,075	薬品収集運搬 校舎移転に伴う廃棄	随契1号 (少額)	
20	産業廃棄物(薬品)処分業務委託	三光株式会社	163,995	163,995	0	163,995	一般	6.2.15 ～ 6.3.29	6.3.29 163,995 小計 163,995	薬品処分 校舎移転に伴う廃棄	随契1号 (少額)	
21	産業廃棄物(薬品(廃酸カドミウム等))処分業務委託	株式会社大洋 サービス	281,050	281,050	0	281,050	一般	6.2.15 ～ 6.3.29	6.4.11 281,050 小計 281,050	薬品(廃酸カドミウム等)処分 校舎移転に伴う廃棄	随契1号 (少額)	
22	グリストラップ汚泥収集・運搬業務	株式会社藤衛	132,000	61,600	0	61,600	随契	5.7.25 ～ 6.3.28	30,800 6.4.12 30,800 小計 61,600	汚泥(廃油含む)収集運搬 寄宿舎 1回 製造実習棟 2回	随契1号 (少額)	
23	産業廃棄物処分業務(グリストラップ)	静和エンバイロメ ント株式会社	127,710	127,710	0	127,710	随契	5.7.25 ～ 6.3.28	51,480 6.4.5 76,230 小計 127,710	汚泥(廃油含む)処分 寄宿舎 1回 製造実習棟 2回	随契1号 (少額)	
	工事関係 計	23件								16,928,485		
	工事関係 計	0件								0		
	合 計	23件								16,928,485		

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	警備業務委託	セコム 株式会社		7,392,000	0	7,392,000		1.10.1 ～ 6.9.30			機械警備 藤枝東高校外5校	藤枝東高校
参考 2	消防用設備等 保守点検業務 委託	消防設備保全 株式会社		7,447,000	0	7,447,000		5.4.1 ～ 6.3.31			消防用設備等の保守点検 藤枝北高校外6校	藤枝北高校
参考 3	可燃物収集 運搬処分 業務委託	株式会社 アドバンス中部 サービス		紙屑等 運搬料 16,500円/㎡ 処分料 14.63円/kg	0	紙屑等 運搬料 16,500円/㎡ 処分料 14.63円/kg		5.4.7 ～ 6.3.31			可燃物(紙屑等) 収集運搬処分 藤枝西高校外5校	藤枝西高校
参考 4	プール浄化装 置保守点検 業務委託	大宇産業 株式会社		247,500	0	247,500		5.4.5 ～ 5.12.22			プール浄化装置の 保守点検 焼津中央高校外4校	焼津中央高校
参考 5	浄化槽保守 点検業務 委託	ニッケン消毒 株式会社		482,900	0	482,900		5.4.1 ～ 6.3.31			浄化槽の保守点検 清流館高校外3校	清流館高校
参考 6	焼津藤枝地区 県立学校建築 基準法第12条 に基づく定期 点検業務	吉島彰一級建築 士事務所 吉島彰		3,410,000	0	3,410,000		5.9.20 ～ 6.1.31			建築・設備定期点検 焼津・藤枝地区県立学校	藤枝東高校
	計	6件										

## 負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第1回合同役員会・研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会理事長	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第1回合同役員会・研究協議会	5,000	5. 4. 14
2	全国水産高等学校実習船職員研究協議会会議費	全国水産高等学校実習船運営協会理事長	開催要項による	全国水産高等学校実習船職員研究協議会	12,000	5. 4. 18
3	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会(春季)並びに研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会関東・東海地区長	開催要項による	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会(春季)並びに研究協議会	1,200	5. 4. 21
4	株式会社清水水金魚競売参加年間登録料	株式会社清水水金魚	株式会社清水水金魚競売参加規程	金魚・鯉等の競売	16,500	5. 4. 28
5	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会総会・研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会理事長	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会総会・研究協議会	7,000	5. 5. 12
6	全国水産高等学校実習船運営協会会費	全国水産高等学校実習船運営協会理事長	全国水産高等学校実習船運営協会規約	実習船の運営並びに調整	125,000	5. 5. 31
7	全国水産高等学校長協会一般会計会費	全国水産高等学校長協会理事長	全国水産高等学校長協会規約	水産教育の改善・振興	103,600	5. 6. 2
8	全国高等学校水産教育研究会関東・東海地区研究協議会会議費	全国高等学校水産教育研究会関東・東海地区研究協議会長	開催要項による	全国高等学校水産教育研究会関東・東海地区研究協議会	16,000	5. 6. 14
9	全国高等学校教頭・副校長会総会・研究協議大会参加費	全国高等学校教頭・副校長会連絡協議大会運営委員長	開催要項による	全国高等学校教頭・副校長会総会・研究協議大会	4,000	5. 6. 28
10	関東・東海地区水産・海洋高等学校副校長・教頭研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会関東・東海地区長	開催要項による	関東・東海地区水産・海洋高等学校副校長・教頭研究協議会	1,000	5. 6. 28
11	全国高等学校水産教育研究会全国大会参加費	全国高等学校水産教育研究会全国大会実行委員長	開催要項による	全国高等学校水産教育研究会全国大会	5,000	5. 7. 18
12	全国漁業無線協会及び東海漁業無線連合会会費	一般社団法人全国漁業無線協会・東海地方漁業無線連合会	会費内訳書	全国漁業無線協会及び東海漁業無線連合会会費	6,320	5. 7. 20
13	SSO・CSOスキルアップ研修会受講料	全国水産高等学校実習船運営協会理事長	開催要項による	SSO・CSOスキルアップ研修会	55,000	5. 7. 21
14	全日本持続的養鰻機構及び静岡県養鰻管理協議会会費	静岡県養鰻管理協議会会長	静岡県養鰻管理協議会規約	ウナギ資源の持続的利用に関すること	6,000	5. 7. 21
15	東海地区学校図書館研究大会参加費	東海地区学校図書館連絡協議会事務局長	開催要項による	東海地区学校図書館研究大会	4,000	5. 7. 25
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分443人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,147,200	5. 7. 31

## 負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分6人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	91,050	5. 7. 31
18	電子海図情報表示装置取扱技能講習料	一般財団法人日本船舶職員養成協会	開催要項による	電子海図情報表示装置取扱技能講習	75,000	5. 8. 16
19	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第2回合同役員会・研究協議会会議費	全国高等学校実習船運営協会	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第2回合同役員会・研究協議会	5,000	5. 9. 14
20	登録小型船舶教習所教員研修受講料	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会	開催要項による	登録小型船舶教習所教員研修	174,000	5. 9. 15
21	船舶保安管理者講習(SSO講習)・船舶保安統括者講習(CSO講習)研修費	独立行政法人海技教育機構海技大高校長	開催要項による	船舶保安管理者講習(SSO講習)・船舶保安統括者講習(CSO講習)	6,380	5.10. 6
22	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分437人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,591,900	5.10. 31
23	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分5人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	173,250	5.10. 31
24	登録小型船舶教習所教員再研修受講料	一般財団法人日本船舶職員養成協会会長	開催要項による	登録小型船舶教習所教員再研修	15,600	5.11. 15
25	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会(秋季)並びに研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会関東・東海地区会長	開催要項による	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会(秋季)並びに研究協議会	5,000	5.11. 16
26	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期11月分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	-9,900	5.11. 20
27	危険物取扱者保安講習受講料	一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会長	開催要項による	危険物取扱者保安講習	4,700	5.12. 8
28	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第3回合同役員会・研究協議会会議費	全国高等学校水産教育研究会会長	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第3回合同役員会・研究協議会	5,000	6. 1. 25
29	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分435人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	17,136,900	6. 1. 31
30	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分5人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	138,600	6. 1. 31
31	登録小型船舶教習所教員研修終了再審査受講料	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会	開催要項による	登録小型船舶教習所実技教員研修	47,000	6. 1. 31
32	登録小型船舶教習所教員研修受講料	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会	開催要項による	登録小型船舶教習所教員研修	39,000	6. 2. 16
	計				53,016,300	

□□□□□□

## 負担金支出調

(令和6年度)  
(令和7年1月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第1回合同役員会・研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会理事長	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第1回合同役員会・研究協議会	5,000	6. 4. 12
2	全国水産高等学校実習船職員研究協議会会議費	全国水産高等学校実習船運営協会理事長	開催要項による	全国水産高等学校実習船職員研究協議会	18,000	6. 5. 2
3	株式会社清水金魚競売参加年間登録料	株式会社清水金魚	株式会社清水金魚競売参加規程	金魚・鯉等の競売	16,500	6. 5. 7
4	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会総会・研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会理事長	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会総会・研究協議会	7,000	6. 5. 20
5	全国水産高等学校長協会一般会計会費	全国水産高等学校長協会理事長	全国水産高等学校長協会規約	水産教育の改善・振興	108,800	6. 5. 31
6	全国水産高等学校実習船運営協会会費	全国水産高等学校実習船運営協会理事長	全国水産高等学校実習船運営協会規約	実習船の運営並びに調整	125,000	6. 6. 6
7	全国高等学校水産教育研究会会費	全国高等学校水産教育研究会会長	全国高等学校水産教育研究会会則	全国高等学校水産教育研究会	58,000	6. 6. 6
8	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会(春季)並びに研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会関東・東海地区長	開催要項による	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会(春季)並びに研究協議会	2,000	6. 6. 12
9	関東・東海地区水産・海洋高等学校副校長・教頭研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会関東・東海地区長	開催要項による	関東・東海地区水産・海洋高等学校副校長・教頭研究協議会	1,000	6. 6. 27
10	全国漁業無線協会及び東海漁業無線連合会会費	一般社団法人全国漁業無線協会・東海地方漁業無線連合会	会費内訳書	全国漁業無線協会及び東海漁業無線連合会会費	6,320	6. 7. 12
11	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6. 7. 12
12	第60回全国高等学校水産教育研究会会議費	全国高等学校水産教育研究会全国大会実行委員会会長	開催要項による	第60回全国高等学校水産教育研究会	12,000	6. 7. 31
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分463人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,751,100	6. 7. 31
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分4人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	89,100	6. 7. 31

□□□□□□

## 負担金支出調

(令和6年度)  
(令和7年1月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
15	技能講習受講料	キャタピラー教習所株式会社静岡教習センター	開催要項による	小型移動式クレーン運転・玉掛け講習	67,400	6. 8.19
16	全日本持続的養鰻機構及び静岡県養鰻管理協議会会費	静岡県養鰻管理協議会会長	静岡県養鰻管理協議会規約	ウナギ資源の持続的利用に関すること	6,000	6. 8.21
17	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第2回合同役員会・研究協議会会議費	全国高等学校実習船運営協会	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第2回合同役員会・研究協議会	5,000	6. 9.12
18	全国水産高等学校実習船運営協会研究協議会参加費	全国水産高等学校実習船運営協会研究協議会実行委員会委員長	開催要項による	全国水産高等学校実習船運営協会研究協議会	8,000	6. 9.27
19	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分144人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,978,000	6.10.31
20	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分4人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	148,500	6.10.31
21	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会・研究協議会会議費	全国水産高等学校長協会関東・東海地区長	開催要項による	全国水産高等学校長協会関東・東海地区校長会・研究協議会	5,000	6.11.13
22	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期11月分2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	-19,800	6.11.21
23	登録小型船舶教習所実技教員再研修受講料	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会	開催要項による	登録小型船舶教習所教員研修	174,000	6.11.29
24	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第3回合同役員会・研究協議会会議費	全国高等学校水産教育研究会会長	開催要項による	全国水産高等学校長協会・実習船運営協会・水産教育研究会第3回合同役員会・研究協議会	5,000	6.12.20
25	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分10、11月分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	6.12.20
26	食品衛生責任者衛生管理講習会受講料	焼津市食品衛生協会	開催通知による	食品衛生責任者衛生管理講習会	2,000	7. 1.17
27	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分4人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	118,800	7. 1.31
28	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分441人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	17,404,200	7. 1.31
	計				54,123,720	

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当 設 計 金 額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
1	高 等 学 校 管理費	実 習 船 や い づ 夏 季 ド ッ ク 工 事	実習船やいづ	84,834,100	82,830,000	4,312,000	87,142,000
2	高 等 学 校 管理費	実 習 船 や い づ 春 季 ド ッ ク 工 事	実習船やいづ	6,017,000	5,995,000	473,000	6,468,000
合 計			2 件	90,851,100	88,825,000	4,785,000	93,610,000
(参考) 1	教 育 管理費	焼津水産高等学校 管理教室棟新築工事	焼津市 焼津地内	1,240,327,000	1,232,000,000	0	1,232,000,000
(参考) 2	教 育 管理費	[第33-Z2427-01号] 焼津水産高等学校 管理教室棟新築他工事 (電気設備)	焼津市 焼津地内	229,768,000	210,100,000	9,240,000	219,340,000
(参考) 3	教 育 管理費	[第33-Z2427-01号] 焼津水産高等学校 管理教室棟新築他工事 (機械設備)	焼津市 焼津地内	178,167,000	163,900,000	31,518,520	195,418,520
(参考) 4	教 育 管理費	焼津水産高等学校 校舎間仕切改修他工事	焼津市 焼津地内	234,058,000	227,700,000	9,834,000	237,534,000
(参考) 5	教 育 管理費	焼津水産高等学校 臨海実習場ボイラー 更新他工事	焼津市 小川地内	27,973,000	26,840,000	▲ 3,146,000	23,694,000

事 調

(令和5年度)

契約締結方法	受注者	着手完成 (予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘 要
指名	㈱三保造船所 代表取締役 鈴木 健悟	5.7.3 5.9.21	87,142,000 円	鋼鉄製 559トン 甲板部、無線部、 機関部整備ドック 船舶安全法 定期検査 海洋汚濁防止法 定期検査	-	令達年月日 5.4.1 支払年月日 5.10.31
指名	藤高造船㈱ 代表取締役 藤井 健仁	6.2.14 6.3.22	6,468,000	鋼鉄製 559トン 甲板部、機関部整備 ドック (BNWASバックアッ プバッテリー交換、 前部マスト鳥よけ金 具取付等)	-	令達年月日 5.4.1 支払年月日 6.4.26
			93,610,000			
一般	株式会社橋本組 代表取締役 橋本 真典	3.12.22 6.1.12	277,200,000	老朽化の進んだ管理 教室棟を、特別教室 棟北側に新築する建 築工事一式	済	本庁経理分 建築工事課
一般	㈱朋電舎 代表取締役 松田 光弘	3.1.19 6.1.12	27,570,000	管理教室棟新築に係 る電気設備工事一式	-	本庁経理分 設備課
一般	青島ポンプ工業㈱ 代表取締役 青島 直久	3.2.10 6.1.12	21,650,000	管理教室棟新築に係 る機械設備工事一式	済	本庁経理分 設備課
一般	株式会社橋本組 代表取締役 橋本 真典	5.6.14 6.1.12	237,534,000	特別教室棟の間仕切 り改修等に係る建築 工事一式	-	本庁経理分 建築工事課
一般	青島ポンプ工業㈱ 代表取締役 青島 直久	5.8.1 6.1.17	23,694,000	臨海実習場のボイ ラー更新に係る機械 設備一式工事	-	本庁経理分 建築工事課

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当 設 計 金 額	契約金額		
					初 額	当 初 額	変 更 増 減 額
1	高 等 学 校 管 理 費	実 習 船 や い づ 夏 季 ド ッ ク 工 事	実 習 船 や い づ	56,353,000	56,100,000	1,980,000	58,080,000
2	高 等 学 校 管 理 費	実 習 船 や い づ 春 季 ド ッ ク 工 事	実 習 船 や い づ	13,046,000	12,937,320		12,937,320
3	高 等 学 校 管 理 費	臨 海 実 習 場 キ ュ ー ビ ク ル 変 圧 器 更 新 工 事	焼 津 市 小 川 地 内	1,254,000	1,210,000	44,000	1,254,000
4	高 等 学 校 管 理 費	臨 海 実 習 場 海 水 棟 電 気 設 備 改 修 工 事	焼 津 市 小 川 地 内	1,826,000	1,815,000		1,815,000
5	高 等 学 校 管 理 費	臨 海 実 習 場 海 水 棟 エ ア ー 配 管 他 設 備 改 修 工 事	焼 津 市 小 川 地 内	671,000	660,000		660,000
合 計			5 件	73,150,000	72,722,320	2,024,000	74,746,320
(参 考) 1	教 育 管 理 費	焼 津 水 産 高 等 学 校 木 館 解 体 工 事	焼 津 市 焼 津 五 丁 目 地 内	130,031,000	84,150,000	158,972,000	243,122,000

事 調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成 (予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘 要
指名	東海造船運輸(株) 代表取締役社長 辻 一也	6. 7. 29 6. 9. 18	円 58,080,000	鋼鉄製 559トン 甲板部、無線部、 機関部整備ドック 船舶安全法 第二種中間検査 海洋汚濁防止法 第二種中間検査	-	令達年月日 6. 4. 1 支払年月日 6. 10. 21
指名	(株)カナサシ重工 代表取締役 村上 雅臣	7. 2. 20 7. 3. 31		鋼鉄製 559トン 甲板部、無線部、 機関部整備ドック (船橋海図室天井 吸込みファン増 設、主機防振ゴム 新替等)	-	令達年月日 6. 4. 1 支払年月日
随契	(株)法月電設 代表取締役 法月 慎	6. 7. 16 6. 12. 20	1,254,000	キュービクル内低 濃度PCB含有変圧器 の更新	-	随契1号(少額) 令達年月日 6. 6. 24 支払年月日 7. 1. 24
随契	(株)法月電設 代表取締役 法月 慎	6. 8. 20 6. 9. 30	1,815,000	海水棟内既設架空 電気配線、照明撤 去及び新設	-	随契2号(不適) 令達年月日 6. 8. 13 支払年月日 6. 11. 29
随契	青島ポンプ工業(株) 代表取締役 青島 直久	6. 10. 7 6. 11. 20	660,000	海水棟内既設エ アー・海水配管撤 去及び新設、配管 受架台補強	-	随契2号(不適) 令達年月日 6. 10. 2 支払年月日 6. 12. 13
			61,809,000			
一般	株式会社トゥースリー 代表取締役 海野 洋平	6. 7. 17 7. 9. 30	25,790,000	本館 鉄筋コンク リート造5階建 4,710㎡ の解体工事	-	本庁経理分 建築工事課

□□□□□□

## 公有財産調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年1月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円	2,721,536	千円	#####	千円	94,111	千円	4,485,512	
土地	m <sup>2</sup>	36,646.38					m <sup>2</sup>	36,646.38	1,976,813
立木竹	本	14					本	14	194
建物	9,608.78 ----- 17,919.78	62,065	883.07 ----- 5,154.88	#####	1,038.79 ----- 4,747.11	0	9,453.06 ----- 18,327.55	1,910,740	
工作物	個	132	58,449	1	9,412	18	4,966	115	62,895
船舶	隻	1	624,015				89,145	1	534,870
普通財産	千円	39,009	千円	4,966	千円	4,966	千円	39,009	
土地	m <sup>2</sup>	745.15	39,009				m <sup>2</sup>	745.15	39,009
建物	0.00 ----- 0.00	0	1,038.79 ----- 4,747.11	0	36.20 ----- 36.20	0	1,002.59 ----- 4,710.91	0	
工作物	個	0	0	18	4,966	18	4,966	0	0
公有財産に 準ずるもの	千円	254	千円		千円		千円	254	
電話加入 権	件	8	254					8	254

□□□□□□

## 借 地 借 家 等 調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区 分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者 氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土	漁港 施設敷地	焼津市小川 3899-16 3899-18	漁港 施設用地	漁港 施設用地	568.40㎡	円 免	円 除	5. 4. 1 8. 3. 31	静岡県知事	海洋訓練 用艇庫及 びスロープ
2	〃	宅地	焼津市小川 3899-15	宅地	宅地	88.50㎡ 進入路敷地	1,009	89,290	4. 4. 1 7. 3. 31	焼津漁業 協同組合	進入路
3	〃	漁港 施設敷地	焼津市小川 字会下之島 3392-9	漁港 区域内 水域	漁港 区域内 水域	海水取水ポンプ 2基 25.02㎡ 海水導水管ケーブル 1,078.5m 電柱1本		免 除	5. 4. 1 8. 3. 31	静岡県知事	海水取水 井戸設置
4	〃	漁港 施設敷地	焼津市中港 5丁目1214	漁港 施設用地	漁港 施設用地	214.76㎡		免 除	5. 4. 1 8. 3. 31	静岡県知事	漁具・船 具庫設置
5	〃	その他 の公共 用施設 敷地	焼津市 小川3690	庁舎 敷地	庁舎 敷地	20.65㎡ 海水取水管 62.4m 電気配管 89.4m 電柱 1本 支線 1条		免 除	6. 4. 1 9. 3. 31	静岡県 水産・海洋 技術研究 所長	海水取水 管等敷設
6	〃	道路 敷地	焼津市小川 3690地先	道路	道路	海水導水管 φ150×80m		免 除	27. 4. 1 7. 3. 31	焼津市長	海水導水 管敷設
7	〃	河川 敷地	焼津市焼津 5丁目585-3 地先	赤塚川	赤塚川	25.48㎡		免 除	5. 4. 1 10. 3. 31	焼津市長	渡廊下
8	〃	〃	焼津市小川 3690地先	黒石川	黒石川	導水管 φ150×35m 通信線 5条 φ17×175m		免 除	2. 4. 1 12. 3. 31	静岡県知事	海水導水管 橋梁添架
9	〃	道路 敷地	焼津市焼津 5丁目585-3 地先外	法定外 道路	法定外 道路	4.90㎡		免 除	5. 4. 1 10. 3. 31	焼津市長	渡廊下 道路部分

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
10	土地	漁港施設敷地	焼津市中港2丁目地内	漁港施設用地	漁港施設用地	動力線 φ65×37.35m 給水管 φ48×40m 電話線 φ40×37.85m 陸電盤 5.0㎡ ハンドホール 2基 0.72㎡ ボックス 2基 0.13㎡		免除	5. 4. 1 8. 3. 31	静岡県知事	給電・給水・電話設備設置 (やいづ用)
11	"	道路敷地	焼津市小川3690地先	道路	道路	海水導水管 φ150×8.2m 通信線 道路部分φ100×7.6m 護岸部分 φ60 鉄杭25本		免除	5. 4. 1 8. 3. 31	静岡県知事	海水供給設備設置
12	"	小学校敷地	焼津市焼津5-5-1	学校敷地	学校敷地	16.80㎡ 弓道場敷地一部		免除	6. 4. 1 7. 3. 31	焼津市長	弓道場
13	"	宅地	焼津市東小川1-1182-1外	宅地	宅地	31.53㎡ 第一製造実習棟西側 通路及び雨水排水路	1,615	50,948	5. 4. 1 8. 3. 31	焼津冷蔵(株)	通路及び雨水排水路
14	"	河川敷地	焼津市焼津5-5-2地先	赤塚川	赤塚川	15.48㎡		免除	4. 4. 1 9. 3. 31	焼津市長	橋梁
15	"	道路敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	法定外道路	法定外道路	7.50㎡		免除	4. 4. 1 9. 3. 31	焼津市長	橋梁 道路部分
16	"	河川敷地	焼津市焼津5-5-2地先	赤塚川	赤塚川	橋梁 25.13㎡ 屋根 27.64㎡		免除	4. 4. 1 9. 3. 31	焼津市長	渡廊下
17	"	道路敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	法定外道路	法定外道路	橋梁 13.71㎡ 屋根 15.08㎡		免除	4. 4. 1 9. 3. 31	焼津市長	渡廊下 道路部分

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
18	土地	河川敷地	焼津市焼津5-5-2地先	赤塚川	赤塚川	70.364m		免除	4.4.1 9.3.31	焼津市長	電気ケーブル敷設
19	"	道路敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	法定外道路	法定外道路	38.388m		免除	4.4.1 9.3.31	焼津市長	電気ケーブル敷設 道路部分
20	"	河川敷地	焼津市焼津5-5-2地先	赤塚川	赤塚川	9.9m		免除	4.4.1 9.3.31	焼津市長	消火設備 配管設置
21	"	道路敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	法定外道路	法定外道路	φ125 2.45m φ65 5.55m		免除	4.4.1 9.3.31	焼津市長	消火設備 配管設置 道路部分
22	"	河川敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先	赤塚川	赤塚川	27.83m <sup>2</sup>		免除	3.12.1 8.3.31	焼津市長	橋梁
23	"	道路敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	法定外道路	法定外道路	14.3m <sup>2</sup>		免除	3.12.1 8.3.31	焼津市長	橋梁 道路部分
24	"	河川敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	赤塚川	赤塚川	電話線 5.06m 電線 5.06m		免除	3.12.1 8.3.31	焼津市長	電話線 電線
25	"	道路敷地	焼津市焼津5丁目585-3地先外	法定外道路	法定外道路	電話線 14.58m 電線 2.6m		免除	3.12.1 8.3.31	焼津市長	電話線 電線 道路部分
26	"	漁港施設敷地	焼津市小川3690	漁港施設用地	漁港施設用地	12.73m <sup>2</sup> 海水取水管 42.1m 電気配管 42.1m ハンドホール2個		免除	4.4.1 7.3.31	静岡県知事	海水取水管等敷設
27	"	河川敷地	焼津市焼津5-5-2地先	赤塚川	赤塚川	電話線 7.03m 電線等 7.03m		免除	2.12.18 7.3.31	焼津市長	電話線 電線
28	"	道路敷地	焼津市焼津5-5-2地先	法定外道路	法定外道路	電話線 0.29m 電線等 0.29m		免除	2.12.18 7.3.31	焼津市長	電話線 電線 道路部分
	計	28件						140,238			

□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

区 分	事業名又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)						
				令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
長期継続 契 約	電子複写機 賃貸借契約	電子複写機2台 (契約日) 令和2年4月1日	円 2,619,459	円 641,439	円 659,340	円 659,340	円 659,340			
	寄宿舍食 調理(配膳) 業務委託	寄宿舍食調理(配膳) (契約日) 令和2年7月16日	9,900,000	2,200,000	3,300,000	3,300,000	1,100,000			
		寄宿舍食調理(配膳) (契約日) 令和5年11月10日					2,691,550	6,141,960	6,162,792	2,054,263

□□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数 量 又 は 面 積	貸 付 料 又 は 使 用 料		貸 付 又 は 使 用 許 可 期 間	貸 付 又 は 使 用 許 可 を 受 け た 者 の 氏 名	貸 付 ・ 使 用 許 可 的 目 的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	焼津市焼津5丁目5-2	学校	学校	支線1本	1,500	1,500	5.4.1 10.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 藤枝営業所長	電力供給
2	"	"	"	学校敷地	学校敷地	支線1本	1,500	1,500	3.4.1 8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信線路設備設置
3	"	"	"	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.54		免除	2.4.1 7.3.31	静岡県立焼津水産高校後援会理事長	防球ネット設置
4	"	"	"	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 3.19		免除	2.4.1 7.3.31	静岡県立焼津水産高校後援会理事長	夜間照明施設設置
5	"	"	"	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 49.16		免除	2.4.1 7.3.31	静岡県立焼津水産高校野球部父母の会	投球練習場設置
6	"	"	"	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.62		免除	2.4.1 7.3.31	静岡県立焼津水産高校野球部父母の会	野球用具庫設置
7	"	"	"	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.49		免除	2.4.1 7.3.31	焼津市長	非常照明灯設置
8	"	"	"	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 8.00		1,125,925 △ 200,000	6.4.1 9.3.31	サントリービバレッジソリューション(株)	飲料自販機設置
9	"	"	焼津市小川3628	学校敷地	臨海実習場	m <sup>2</sup> 1.84		免除	4.4.1 8.3.31	焼津市長	同報無線子局の設置
10	"	"	"	学校敷地	臨海実習場	共架電話柱3本 支線4本	1,500	10,500	3.4.1 8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信線路設備設置
11	"	"	"	学校敷地	臨海実習場	m <sup>2</sup> 2.00		200,000	6.4.1 9.3.31	サントリービバレッジソリューション(株)	飲料自販機設置
12	"	"	"	学校敷地	臨海実習場	m <sup>2</sup> 0.04		免除	3.4.1 8.3.31	焼津市小川第13自治会	防犯灯設置
13	"	"	"	学校敷地	臨海実習場	共架電話柱1本	1,500	1,500	4.11.25 8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信線路設備設置
14	建物	事務所建	焼津市焼津5丁目5-2	重量鉄骨7F建	本館	m <sup>2</sup> 3.38		免除	6.4.1 9.3.31	静岡県立焼津水産高校後援会理事長	パン販売所設置
15	"	"	"	"	"	m <sup>2</sup> 0.01		免除	3.4.1 8.3.31	焼津市長	防災無線局・アンテナ設置
16	"	"	"	"	"	m <sup>2</sup> 3.30		免除	6.4.1 9.3.31	静岡県立焼津水産高校PTA会長	団体職員執務場所
17	"	"	"	鉄筋コン4F建	南館	m <sup>2</sup> 582.75		免除	4.4.1 7.3.31	静岡県立藤枝特別支援学校	焼津分校設置
18	"	雑屋建	"	軽量鉄骨	自転車置場	m <sup>2</sup> 23.56		免除	4.4.1 7.3.31	静岡県立藤枝特別支援学校	焼津分校設置
19	工作物	冷暖房装置	"	—	—	個 13		免除	4.4.1 7.3.31	静岡県立藤枝特別支援学校	焼津分校冷暖房装置
合計								1,140,925			

□□□□□□

## 主要備品調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入 金額
	大・中	小				
1	8-2	船舶	小型練習船（リサーチ） ヤマハ19トン	海洋科学科実習用 年間50日使用	平成 7年3月	円 167,138,100
2	5-99	試験実験機器	機関運転実習装置 主機赤坂MH-22	船舶機関実習用 年間140日使用	平成 6年3月	84,460,000
3	7-4	その他の水産用機器	航海用シミュレーター装置 古野電気 <small>教官部、第1・2自船部、ECDIS訓練部</small>	国際船員教育訓練用 年間237授業時間使用	令和 4年3月	43,890,000
4	5-4	分光分析機器	原子吸光分光分析装置 日立Z-5000	食品科学科実習用 年間40授業時間使用	平成 9年2月	16,486,800
5	5-99	試験実験機器	発電機関 三菱FEG30TH	船舶機関実習用 年間140日使用	平成 6年3月	16,480,000
6	5-1	引張機器	万能材料試験機	船舶機関実習用 年間10日使用	令和 3年11月	15,675,000
7	8-2	船舶	小型練習船（水高丸） ヤンマーFX27Z.LTD	小型船舶操船実習用 年間120日使用	令和 2年3月	15,400,000
8	7-1	加工用機器	自動肉詰装置 鮭油漬缶詰製造装置	食品科学科実習用 年間28授業時間使用	平成 2年3月	14,420,000
9	7-4	育成用機器	養魚池環境制御装置	臨海実習場用 常時使用	平成 9年12月	13,944,000
10	5-4	クロマトグラフ	高速液体クロマトグラフ	食品科学科実習用 年間28授業時間使用	平成 8年3月	12,720,500
11	7-1	加工用機器	蒸煮機 クラッチ式レトルト	食品科学科実習用 年間448授業時間使用	平成 9年3月	11,536,000
12	8-2	船舶	小型練習船（リサーチⅡ） ヤンマーFX26BZ.SD	小型船舶操船実習用 年間120日使用	平成 25年3月	11,445,000
13	7-1	加工用機器	蒲鉾プラント 魚肉採取機等 備文OMM3他	食品科学科実習用 年間32授業時間使用	平成 6年3月	11,387,300
14	5-4	ろ過装置	海水ろ過装置 日本濾水機50t/h	臨海実習場用 常時使用	平成 4年1月	11,124,000
15	7-1	加工用機器	蒸煮機 1620×1500×3000	食品科学科実習用 年間448授業時間使用	平成 6年3月	10,606,940
16	6-99	その他の諸機器	巻締機 シーマDIA211-605	食品科学科実習用 年間28授業時間使用	平成 3年3月	10,094,000
17	5-4	その他の分析化学機器	低温殺菌器 みかん缶詰殺菌用	食品科学科実習用 年間28授業時間使用	昭和 63年3月	9,550,000
18	7-1	加工用機器	レトルト食品製造装置 高圧調理殺菌装置	食品科学科実習用 年間56授業時間使用	昭和 63年3月	9,320,000
19	5-4	純水製造装置	純水製造装置	食品科学科実習用 年間28授業時間使用	平成 15年3月	8,610,000
20	6-6	ボイラー	製造実習棟ボイラー E1354LBC]T5	食品科学科実習用 年間720授業時間使用	平成 3年3月	8,446,000

□□□□□□

## 動物管理状況調

品名	区分 品 種	令和5年3月31日 現 在 頭 羽 数	増			
			分類換	購 入	管理換 その他	計
鯉	4. 5. 9	2				0
	17.12. 1	6				0
金魚	23. 6. 1	22				0
	25. 4. 9	20				0
	30.11. 1	315				0
	4.10.28	732				0
	5. 5. 8		30,000			30,000
	5. 6.30		12,677			12,677
	5. 9.25		9,223			9,223
	6. 1.18		31,937			31,937
	6. 3.15		32,616			32,616
うなぎ	30. 5.18	682				0
	1.11.25	1,962				0
	4. 1.28	2,126				0
	4.11. 2	3,105				0
	5. 9. 7		4,900			4,900
鮎	5. 5.15		3,500			3,500
	5. 8. 2		375			375
スッポン	15. 9.17	5				0
	25. 4. 9	8				0
	2. 4.28	89				0
	3.10. 1	69				0
	4. 7.15	94				0
	5. 9. 5		150			150
真鯛	27. 1.23	4				0
	2. 9.24	768				0
	4. 9. 1	1,000				0
	6. 3. 1	1,000				0
ヒラメ	29. 5.25	11				0
	30. 6.26	26				0
	1. 7. 9	30				0
	3. 9. 16	156				0
	5. 3. 3	2,500				0
	6. 3. 1		50			50
トラフグ	29. 7.13	236				0
	30. 7.10	124				0
	1. 7. 4	200				0
	5. 3.17	350				0
	6. 3. 1	100				0
イサキ	3. 3.19	975				0
ニジマス	5. 5. 2		20			20
	5.11.24		60			60
	6. 2.14		60			60
ムラサキウニ	6. 2. 2		125			125
計		16,717	125,693	0	0	125,693

(令和5年度)

減					頭羽数 差引	摘 要
分類換 出生	売却 購入	死亡	管理換 その他	計		
				0	2	親魚
				0	6	
				0	22	親魚
				0	20	親魚
				0	315	親魚
		732		732	0	
28,477		1,523		30,000	0	
12,000		642		12,642	35	
9,000		0		9,000	223	
31,000				31,000	937	
32,000		0		32,000	616	
	241	441		682	0	
	1,962			1,962	0	
	2,119	7		2,126	0	
	3,105			3,105	0	
		86		86	4,814	
	3,497	3		3,500	0	
	375			375	0	
				0	5	親魚
				0	8	親魚
		34		34	55	
				0	69	
				0	94	
76				76	74	
				0	4	
131		240		371	397	
				0	1,000	
				0	1,000	
				0	11	親魚
				0	26	親魚
				0	30	親魚
97		59		156	0	
907		858		1,765	735	
0		0		0	50	
		128		128	108	
				0	124	
				0	200	
110				110	240	
				0	100	
240		29		269	706	
10		10		20	0	
60				60	0	
		1		1	59	
125				125	0	
114,233	11,299	4,793	0	130,325	12,085	

□□□□□□

動物管理状況調

品名	区分 品 種	令和6年3月31日 現 在 頭 羽 数	増			
			分類換	購 入	管理換 その他	計
鯉	4. 5. 9	2				0
	17.12. 1	6				0
金魚	23. 6. 1	22				0
	25. 4. 9	20				0
	30.11. 1	315				0
	5. 6.30	35				0
	5. 9.25	223				0
	6. 1.18	937				0
	6. 3.15	616				0
	6. 6.10		24,910			24,910
6. 9. 2		22,080			22,080	
うなぎ	5. 9. 7	4,814				0
鮎	6. 7. 9		4,200		69	4,269
スッポン	15. 9.17	5				0
	25. 4. 9	8				0
	2. 4.28	55				0
	3.10. 1	69				0
	4. 7.15	94				0
	5. 9. 5	74				0
真鯛	27. 1.23	4				0
	2. 9.24	397				0
	4. 9. 1	1,000				0
	6. 3. 1	1,000				0
ヒラメ	29. 5.25	11				0
	30. 6.26	26				0
	1. 7. 9	30				0
	5. 3. 3	735				0
	6. 3. 1	50				0
トラフグ	29. 7.13	108				0
	30. 7.10	124				0
	1. 7. 4	200				0
	5. 3.17	240				0
	6. 3. 1	100				0
イサキ	3. 3.19	706				0
ニジマス	6.2.14	59				0
	6.12. 6		120			120
計		12,085	51,310	0	69	51,379

(令和6年度)  
(令和7年1月31日現在)

減					頭羽数 差引	摘 要
分類換 出生	売却 購入	死亡	管理換 その他	計		
				0	2	親魚
				0	6	
				0	22	親魚
				0	20	親魚
				0	315	親魚
		35		35	0	
		223		223	0	
580		357		937	0	
88		528		616	0	
24,072		838		24,910	0	
15,123		676		15,799	6,281	
4,456		323		4,779	35	
	4,260	9		4,269	0	
				0	5	親魚
				0	8	親魚
42		13		55	0	
62		7		69	0	
40		15		55	39	
				0	74	
		4		4	0	
		397		397	0	
		353		353	647	
				0	1,000	
				0	11	親魚
				0	26	親魚
				0	30	親魚
472		232		704	31	
				0	50	
		37		37	71	
				0	124	
				0	200	
84		79		163	77	
				0	100	
		12		12	694	
55				55	4	
78				78	42	
45,152	4,260	4,138	0	53,550	9,914	0

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		実習船 やいづ水揚 (kg)				とんぼ鮪油漬缶詰 ヲット (缶)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		74日	66日	56日	△ 8	457.9kg	684.2kg	662.3kg	226.3	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	59,609	77,038	28,993	17,429	2,827	3,991	3,808	1,164	
	計	59,609	77,038	28,993	17,429	2,827	3,991	3,808	1,164	
単位数(イ/ア)		805.53	1,167.24	517.73	361.71	6.17	5.83	5.75	△ 0.34	
同前年比(%) (b-a) / a × 100					29.2				41.2	
払 高	売 払 数 量	58,770	76,072	28,233	17,302	2,710	3,865	3,678	1,155	
	売 払 金 額	26,370,141	24,747,257	9,444,174	△ 1,622,884	460,400	618,400	698,820	158,000	
	非 売 品 数 量	分類換	839	966	760	127	117	126	130	9
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	59,609	77,038	28,993	17,429	2,827	3,991	3,808	1,164	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要										

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		とんぼ鮪油漬缶詰 フレーク (缶)				マグロドレッシング漬 (袋)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		171.4kg	184.1kg	290.4kg	12.7	22.7kg	34.7kg	40.3kg	12.0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	1,058	1,074	1,670	16	83	111	134	28	
	計	1,058	1,074	1,670	16	83	111	134	28	
単位数(イ/ア)		6.17	5.83	5.75	△ 0.34	3.66	3.20	3.33	△ 0.46	
同前年比(%) (b-a) / a × 100		/			1.5	/			33.7	
払 高	売 払 数 量	941	948	1,540	7	33	57	80	24	
	売 払 金 額	131,740	123,240	246,400	△ 8,500	14,190	27,930	35,200	13,740	
	非 売 品 数 量	分類換	117	126	130	9	50	51	51	1
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,058	1,074	1,670	16	83	111	134	28	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要										

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		のり佃煮瓶詰 (木)				ゆで小豆缶詰 (缶)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		18,000枚	14,400枚	14,400枚	△ 3,600	60kg	60kg	60kg	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	6,186	4,849	4,946	△ 1,337	1,256	1,348	1,022	92	
	計	6,186	4,849	4,946	△ 1,337	1,256	1,348	1,022	92	
単位数(イ/ア)		0.34	0.34	0.34	0.00	20.93	22.47	17.03	1.54	
同前年比(%) (b-a) / a × 100					△ 21.6				7.3	
払 高	売払数量	6,069	4,721	4,764	△ 1,348	1,170	1,258	932	88	
	売払金額	971,040	849,780	857,520	△ 121,260	187,200	213,860	205,040	26,660	
	非売品 数量	分類換	117	128	182	11	86	90	90	4
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6,186	4,849	4,946	△ 1,337	1,256	1,348	1,022	92	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要										

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		みかん缶詰 (缶)				鯖水煮缶詰 (缶)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		500kg	700kg	800kg	200	200kg	200kg	200kg	0	
受 高	前年度繰越高	1,429	1,175	1,681	△ 254	401	495	580	94	
	本年度生産高(イ)	1,338	1,854	0	516	581	670	0	89	
	計	2,767	3,029	1,681	262	982	1,165	580	183	
単位数(イ/ア)		2.68	0.00	0.00	△ 2.68	2.91	0.00	0.00	△ 2.91	
同前年比(%) (b-a) / a × 100					9.5				18.6	
払 高	売 払 数 量	1,429	1,175	1,681	△ 254	401	495	580	94	
	売 払 金 額	228,640	188,000	268,960	△ 40,640	72,180	99,000	121,800	26,820	
	非 売 品 数 量	分類換	163	173	0	10	86	90	0	4
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	1,592	1,348	1,681	△ 244	487	585	580	98
残高又は繰越数量		1,175	1,681	0	506	495	580	0	85	
摘 要										

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		鯉 (尾)				金魚 (尾)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		101m <sup>3</sup>	101m <sup>3</sup>	101m <sup>3</sup>	0	555m <sup>3</sup>	555m <sup>3</sup>	555m <sup>3</sup>	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	0	0	0	209,131	231,930	89,853	22,799	
	計	0	0	0	0	209,131	231,930	89,853	22,799	
単位数(イ/ア)		0	0	0	0	376.81	417.89	161.90	41.08	
同前年比(%) (b-a) / a × 100					0.0				10.9	
払 高	売払数量	0	0	0	0	103,099	115,477	42,863	12,378	
	売払金額	0	0	0	0	720,855	661,816	361,196	△ 59,039	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	106,032	116,453	46,990	10,421
		管理換 その他	0	0	0	0				0
	計	0	0	0	0	209,131	231,930	89,853	22,799	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要						学校生産  (出生)  動物へ分類 換106,032	学校生産  (出生)  動物へ分類 換116,453	学校生産  (出生)  動物へ分類 換 46,990		

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		うなぎ (尾)				鮎 (尾)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		629m <sup>3</sup>	629m <sup>3</sup>	629m <sup>3</sup>	0	210m <sup>3</sup>	210m <sup>3</sup>	210m <sup>3</sup>	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	12,562	7,186	4,456	△ 5,376	3,410	3,872	4,260	462	
	計	12,562	7,186	4,456	△ 5,376	3,410	3,872	4,260	462	
単位数(イ/ア)		19.97	11.42	7.08	△ 8.55	16.24	18.44	20.29	2.20	
同前年比(%) (b-a) / a × 100					△ 42.8				13.5	
払 高	売 払 数 量	12,562	7,421	4,456	△ 5,141	3,230	3,672	4,060	442	
	売 払 金 額	13,689,810	8,911,431	5,474,547	△ 4,778,379	358,342	389,316	612,576	30,974	
	非 売 品 数 量	分類換	0	6	0	6	180	200	200	20
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12,562	7,427	4,456	△ 5,135	3,410	3,872	4,260	462	
残高又は繰越数量		0	△ 241	0	△ 241	0	0	0	0	
摘 要		購入分	購入分	購入分		購入分	購入分	購入分		
			消耗品へ分 類換 6			消耗品へ分 類換 180	消耗品へ分 類換 200	消耗品へ分 類換 200		

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		スッポン (頭)				真鯛 (尾)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		56m <sup>3</sup>	56m <sup>3</sup>	56m <sup>3</sup>	0	33m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup>	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	179	226	144	47	3,132	2,131	1,000	△ 1,001	
	計	179	226	144	47	3,132	2,131	1,000	△ 1,001	
単位数(イ/ア)		3.20	4.04	2.57	0.84	94.91	64.58	30.30	△ 30.33	
同前年比(%) (b-a) / a × 100					26.3				△ 32.0	
払 高	売払数量	45	76	144	31	1,132	1,131	1,000	△ 1	
	売払金額	206,770	394,632	691,740	187,862	308,706	265,602	100,000	△ 43,104	
	非売品 数量	分類換	134	150		16	2,000	1,000	0	△ 1,000
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	179	226	144	47	3,132	2,131	1,000	△ 1,001	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要		学校生産 (出生)	学校生産 (出生)	学校生産 (出生)		学校生産 (出生)	学校生産 (出生)	学校生産 (出生)		
		動物へ分類 換134	動物へ分類 換150			動物へ分類 換2,000	動物へ分類 換1,000			

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		ヒラメ (尾)				トラフグ (尾)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		72m <sup>3</sup>	72m <sup>3</sup>	72m <sup>3</sup>	0	48m <sup>3</sup>	48m <sup>3</sup>	48m <sup>3</sup>	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	483	1,051	469	568	1,051	210	1,084	△ 841	
	計	483	1,051	469	568	1,051	210	1,084	△ 841	
単位数(イ/ア)		6.71	14.60	6.51	7.89	21.90	4.38	22.58	△ 17.52	
同前年比(%) (b-a) / a × 100		/			117.6	/			0	
払 高	売払数量	481	1,001	469	520	51	110	84	59	
	売払金額	916,051	1,998,423	817,577	1,082,372	101,535	327,024	243,400	225,489	
	非売品 数量	分類換	2	50	0	48	1,000	100	1,000	△ 900
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	483	1,051	469	568	1,051	210	1,084	△ 841	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要		学校生産 (出生)  消耗品へ分類換2	学校生産 (出生)  動物へ分類換50	学校生産 (出生)		学校生産 (出生)  消耗品へ分類換1,000	学校生産 (出生)  動物へ分類換100	学校生産 (出生)  消耗品へ分類換1,000		

□□□□□□

生産物受払調

品名(単位)		イサキ (尾)				ニジマス (尾)				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
数量(7)		33m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup>	0	0m <sup>3</sup>	10m <sup>3</sup>	10m <sup>3</sup>	10	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	240		240	0	210	253	210	
	計	0	240	0	240	0	210	253	210	
単位数(イ/ア)		0.00	7.27	0.00	7.27	0.00	0.00	25.30	0.00	
同前年比(%) (b-a) / a × 100		/			0	/			0	
払 高	売払数量	0	240		240	0	70	133	70	
	売払金額	0	47,446		47,446	0	107,979	422,536	107,979	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	140	120	140
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	240	0	240	0	210	253	210	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要			学校生産  (出生)				学校生産  (出生)  動物へ分類 換140	学校生産  (出生)  動物へ分類 換120		

□□□□□□

生産物受払調

(令和7年1月31日現在)

品名(単位)		合計				
		4年度 a	5年度 b	令和7年1月 31日 現在	差 b-a	
区分	数量(7)				0	
受 高	前年度繰越高	1,830	1,670	2,261	△ 160	
	本年度生産高(イ)	302,886	337,991	142,092	35,105	
	計	304,716	339,661	144,353	34,945	
単位数(イ/ア)						
同前年比(%) (b-a) / a × 100					0	
払 高	売 払 数 量	192,123	217,789	94,697	25,666	
	売 払 金 額	44,737,600	39,971,136	20,601,486	△ 4,766,464	
	非 売 品 数 量	分類換	110,923	119,852	49,656	8,929
		管理換 その他	0	0	0	0
	計	303,046	337,641	144,353	34,595	
残高又は繰越数量		1,670	2,020	0	350	
摘 要						

□□□□□□

## 職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	沼里 智彦		□□□	□年 □月	□□□
2	副 校 長	松永 恭介		□□□	□ □	□□□
3	教 頭	西島 靖真	理 科 水産(海洋科学)	□□□	□ □	□□□
4	事 務 長	米山 敏彦	事務総括	□□□	□ □	□□□
5	船 長	佐藤 祥	実習船総括	□□□	□ □	□□□
6	教 諭	植田 正幸	保健・体育	□□□	□ □	□□□
7	〃	滝田 優子	外国語(英語)	□□□	□ □	□□□
8	〃	澤部 由幸	数 学	□□□	□ □	□□□
9	〃	黒田 正和	水 産 (栽培漁業)	□□□	□ □	□□□
10	〃	合田 雅行	理 科	□□□	□ □	□□□
11	〃	榎山 誉人	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
12	〃	青山 秀一	保健・体育	□□□	□ □	□□□
13	〃	佐野 由美子	地歴・公民	□□□	□ □	□□□
14	〃	千葉 涼子	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
15	〃	鈴木 亮	商 業	□□□	□ □	□□□
16	〃	山本 泰子	水 産 (食品科学)	□□□	□ □	□□□
17	〃	伊藤 直也	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
18	〃	吉川 祐自	乗船指導 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
19	〃	澤入 幸代	国 語	□□□	□ □	□□□
20	〃	白井 宏樹	地歴・公民	□□□	□ □	□□□
21	〃	大石 卓哉	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
22	〃	池住 秀夫	保健・体育	□□□	□ □	□□□
23	〃	佐藤 保大	水 産 (食品科学)	□□□	□ □	□□□
24	〃	後藤 剛志	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
25	〃	北山 剛史	水 産 (流通情報)	□□□	□ □	□□□
26	〃	杉山 憲尚	外国語(英語)	□□□	□ □	□□□
27	〃	高橋 木綿子	国 語	□□□	□ □	□□□
28	〃	千野 和史	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
29	〃	谷全 尚樹	水 産 (食品科学)	□□□	□ □	□□□

□□□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
30	教 諭	篠原 康治	保健・体育	□□□	□年 □月	□□□
31	〃	栗山 朝充	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
32	〃	藤原 啓太	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
33	〃	清水 景子	外国語(英語)	□□□	□ □	□□□
34	〃	西上床 伸	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
35	〃	前田 玄	水 産 (栽培漁業)	□□□	□ □	□□□
36	〃	松田 章貴	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
37	〃	福島 陽子	水 産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
38	〃	河守 直樹	数 学	□□□	□ □	□□□
39	〃	村裕 宏樹	数 学	□□□	□ □	□□□
40	〃	谷崎 知佳	水 産 (流通情報)	□□□	□ □	□□□
41	〃	原科 興男	水産実習 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
42	〃	村田 暁彦	水産実習 (食品科学)	□□□	□ □	□□□
43	〃	村松 華連	家 庭	□□□	□ □	□□□
44	〃	前田 遥海	水産実習 (流通情報)	□□□	□ □	□□□
44	〃	蒔田 和一朗	水産実習 (栽培漁業)	□□□	□ □	□□□
46	〃	小俣 佳己	水産実習 (食品科学)	□□□	□ □	□□□
47	〃	近藤 昌幸	水産実習 (流通情報)	□□□	□ □	□□□
48	〃	佐野 雅之	水産実習 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
49	養護教諭	石原 美佳子		□□□	□ □	□□□
50	実習助手	鈴木 良明	水産実習 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
51	〃	熊谷 宗興	水産実習 (食品科学)	□□□	□ □	□□□
52	〃	金子 富美子	水産実習 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
53	〃	梅村 真成	水産実習 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
54	〃	竹田 遼太	水産実習 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
55	〃	川崎 靖也	水 産 (栽培漁業)	□□□	□ □	□□□
56	主 査	対馬 早紀子	会 計	□□□	□ □	□□□
57	〃	山田 祐実	給与・会計	□□□	□ □	□□□
58	〃	久保田 明澄	実習船	□□□	□ □	□□□

□□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
59	主任	木ノ内 一博	庶務・会計	□□□	□年 □月	□□□
60	主事	山田 真那	施設・管財	□□□	□ □	□□□
61	技能長	渡邊 益夫	用務	□□□	□ □	□□□
62	機関長	天野 聡	実習船 機関長	□□□	□ □	□□□
63	主査	石丸 満	実習船 通信長	□□□	□ □	□□□
64	〃	池谷 英二	実習船 一等航海士	□□□	□ □	□□□
65	〃	杉崎 茂亨	実習船 一等機関士	□□□	□ □	□□□
66	主任	岩本 章	実習船 二等航海士	□□□	□ □	□□□
67	主任技能員	山下 涼平	実習船 操機長	□□□	□ □	□□□
68	〃	古蔵 健司	実習船 司厨長	□□□	□ □	□□□
69	〃	戸塚 俊介	実習船 冷凍長	□□□	□ □	□□□
70	技能員	池谷 常臣	実習船 一等機関士	□□□	□ □	□□□
71	〃	朝日 誠	実習船 二等航海士	□□□	□ □	□□□
72	〃	新海 温都	実習船 三等機関士	□□□	□ □	□□□
73	〃	服部 哲平	実習船 甲板員	□□□	□ □	□□□
74	〃	川口 洋一	実習船 甲板長	□□□	□ □	□□□
75	〃	柚木 貴行	実習船 司厨員	□□□	□ □	□□□
76	〃	佐藤 良	実習船 機関員	□□□	□ □	□□□
77	〃	牧野 会竜	実習船 機関員	□□□	□ □	□□□

□□□□□□

## 臨時・会計年度任用職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	鶴巻 協	水産 (海洋科学)	□□□	□年 □月	□□□
2	〃	増田 伊佐男	水産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
3	〃	杉本 裕幸	水産 (栽培漁業)	□□□	□ □	□□□
4	〃	増田 紘之	地歴・公民	□□□	□ □	□□□
5	〃	石村 美幸	理科	□□□	□ □	□□□
6	非常勤講師	柳楽 晃子	国語	□□□	□ □	□□□
7	〃	富澤 あゆみ	数学	□□□	□ □	□□□
8	〃	大橋 誠	理科	□□□	□ □	□□□
9	〃	山口 良二	外国語(英語)	□□□	□ □	□□□
10	非常勤講師 部活動指導員	永田 一美	保健・体育	□□□	□ □	□□□
11	非常勤講師	勝呂 浩実	美術	□□□	□ □	□□□
12	〃	鈴木 美智子	音楽	□□□	□ □	□□□
13	〃	鈴木 卓也	水産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
14	〃	小柳津 毅	水産 (海洋科学)	□□□	□ □	□□□
15	部活動 指導員	小長谷 正弘	保健・体育	□□□	□ □	□□□
16	外国語 指導講師	ジョーダン ホールソン	外国語(英語)	□□□	□ □	□□□
17	非常勤 嘱託員	江村 早栄子	事務	□□□	□ □	□□□
18	〃	平井 裕乃	就学支援金事務	□□□	□ □	□□□
19	非常勤 労務職員	川村 孝行	用務	□□□	□ □	□□□
20	〃	斉藤 啓介	〃	□□□	□ □	□□□
21	スクール カウンセラー	早苗 伸江	教育相談	□□□	□ □	□□□
22	〃	小島 孝子	教育相談	□□□	□ □	□□□
23	学校医	小長谷 稔	内科	□□□	□ □	□□□
24	〃	宮下 弘	耳鼻科	□□□	□ □	□□□
25	〃	原田 隆文	眼科	□□□	□ □	□□□
26	〃	安本 和由	歯科	□□□	□ □	□□□
27	薬剤師	藪崎 徹也	薬剤師	□□□	□ □	□□□
28	健康管理医	篠原 彰	内科	□□□	□ □	□□□

□□□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	1 人	
20歳以上30歳未満	9 人	
30歳以上40歳未満	13 人	
40歳以上50歳未満	21 人	
50歳以上56歳未満	17 人	
56歳以上61歳未満	11 人	
61歳以上	5 人	再任用 5人
計	77 人	平均年齢 45歳 10月

## 健康管理

### 1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 83人 職員数 84人
受 診 率	98.8%
県平均受診率	

(1) 未受診の理由

- 人  
   □人  
   □人

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

### 2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1		要 治 療	(13) 人
D 2	平常の勤務でよい。	要経過観察	(33) 人
D 3		医 療 不 要	(30) 人
区 分 者 計			(76) 人
未区分者数			(7) 人
合 計			(83) 人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者

に対する措置状況

- 

(2) 未区分の理由

- ア 産休・育休  人  
 イ 新規採用  人  
 ウ 自己都合による未受診  人  
 エ その他  人